



Salesforce連携オプション セットアップガイド

最終更新日: 2025.6.30

Version: 2.2.0

株式取引先オロ クラウドソリューション事業部

目次

1. はじめに
2. 本サービス利用の前提条件
3. クイックガイド
4. AWSアカウントの作成
5. Salesforceコネクタのセットアップ
6. ZAC APIの利用設定
7. アプリケーションのデプロイ
8. 連携の準備
9. 連携の確認
10. 連携の終了
11. スケジュール実行の設定

補足)AWSアカウント作成の流れ

参考)Salesforce・AWS公式ドキュメント各種

1. はじめに

ガイドの目的

このガイドでは、オロが提供するSalesforce連携オプションの各種機能である連携コネクタ、カスタム項目連携機能、連携フローテンプレートのセットアップ、連携の確認/開始方法について説明します。

AWSの各種サービスやZACのAPIを使用したことがないお客様が、容易に連携フローを作成し、Salesforceとのデータ連携ができるようになることを目的とします。

Salesforce連携オプションの概要

Salesforce連携オプションはZACのAPIと通信し、ZACへの連携が可能なデータの転送・変換を提供するプログラムです。

Salesforce連携オプションは以下のAWSサービスを組み合わせて動作します。

- AWS Lambda (<https://aws.amazon.com/jp/lambda/>)
- Amazon Athena (<https://aws.amazon.com/jp/athena/>)
- AWS Secrets Manager (<https://aws.amazon.com/jp/secrets-manager/>)
- Amazon S3 (<https://aws.amazon.com/jp/s3/>)
- Amazon DynamoDB (<https://aws.amazon.com/jp/dynamodb/>)
- Amazon AppFlow (<https://aws.amazon.com/jp/appflow/>)
- AAWS Glue (<https://aws.amazon.com/jp/glue/features/databrew/>)
- AWS Step Functions (<https://aws.amazon.com/jp/step-functions/>)
- Amazon EventBridge (<https://aws.amazon.com/jp/eventbridge/>)
- Amazon API Gateway (<https://aws.amazon.com/jp/api-gateway/>)

Salesforce連携オプションの配布はAWS Serverless Application Repositoryのプライベートアプリケーション(配布先を限定したアプリケーション)を通して行います。

連携のテストについて

Salesforce連携オプションでは、本番環境での連携（取り込み）前に「チェック実行機能」をご利用いただくことでZACとSalesforceの連携テストを行うことが可能です。

本機能ではチェック実行のみ行い、実際の取り込みは行わないため、連携のテストで連携エラーデータの修正後に実際の取り込みを行っていただく流れを推奨しています。

連携テストを行う環境として、ZACについてはテスト環境、

Salesforceについては「Sandbox」(https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.data_sandbox_create.htm&type=5)、

または「developer Edition」(<https://developer.salesforce.com/signup>)をご利用ください。

※1回のセットアップにつき、連携先はテスト環境もしくは本番環境のどちらか1つとなります。テスト環境での連携を実施する場合、別途本番環境への連携をセットアップする必要があります。

セットアップ項目整理シートについて

弊社から提供させていただく各種アプリケーションのセットアップ時に必要な項目の整理としてセットアップ項目整理シート (<https://zac-reforma.zendesk.com/hc/ia/articles/42820037878937>) をご利用いただくことが可能です。

本資料の目的

当社より提供する「連携フローテンプレート」とは、当社が定めた標準的な連携フローに基づき、定期的にデータの出力・項目間のマッチング・データの変換・データの取込を行うものですが、お使いのZACの設定内容により、ZACへの取込項目が異なっている場合がございます。設定内容によって、お客様にて項目のマッチングやデータ変換の修正が必要となりますので、そのための整理としてこちらのシートをご活用いただくことを目的としています。

本資料の内容

- シート「マッチング整理」
 - 本ガイドを基にセットアップを進めていただく際の、設定が必要な連携項目の入力値についてメモ
 - 「[8. Salesforce各種セットアップ](#)」以降でご活用いただけます。
- シート「【標準】Salesforce商談フェーズ」
 - 本ガイドを基にセットアップを進めていただく際の、Salesforce側の商談フェーズおよびカスタム項目の整理
 - 「[9. フェーズIDの変換](#)」でご活用いただけます。

2. 本サービス利用の前提条件

契約・料金・サポート範囲に関して

- ・アウトプット出力APIオプション、案件取込APIオプション、Salesforce連携オプションの契約が必要です。
- ・お客様にてAWSアカウントを作成いただく必要があります。
- ・オプション料金の他にSalesforce利用料、各種AWSサービス利用料が発生します。
- ・Salesforceや各種AWSサービスに関する問合せはお応えいたしかねます。公式ドキュメントを参照いただくか、各種サポートをご利用ください。
(参考)Salesforce 公式ドキュメント(<https://help.salesforce.com/s/products/sales>)
- ・(参考)AWS Support プラン(<https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/>)
- ・SalesforceがAPIアクセス可能な契約プランでないとご利用できません。
(<https://help.salesforce.com/s/articleView?id=000385436&type=1>)
- ・ZACのオプション機能であるテーブルデータ取込(案件取込)の取込のキーコードが「JobNo.」となっている場合はご利用できません。

出力コネクタに関して

- ・当社より提供する「出力コネクタ」とは、ZACのアウトプットAPIを実行できる「ZacApiAthenaConnector」とZACアウトプットの出力条件の指定ができる「カスタムテーブル機能」から構成されています。
- ・カスタムテーブル機能を使用して作成したテーブルデータは、AWSのデータストレージサービスであるS3にデータが格納をされます。
- ・データ取得処理に使用するAWS機能の制限により、ZAC API呼び出し1回あたりの応答時間が長い場合、自動的にAWS機能の制限内となるように調整します。そのため、1種類のデータを取得する場合でも複数回のZAC API呼び出しが実行される可能性があります。
- ・Salesforce連携オプションでは、カスタムテーブル機能のデータ保存機能は使用しません。データ保存機能を使用した場合、AWSサービスの利用料が増加する可能性があるため、Salesforce連携オプションのみご契約の場合は、利用しないようお願いします。
- ・Salesforceからのデータの出力は、Amazon AppFlowが提供する公式のSalesforceコネクタを使用しています。

取込コネクタに関して

- ・当社より提供する「取込コネクタ」とは、Amazon AppFlowで使用可能なZACのテーブルデータ取込(案件取込)APIに対応したカスタムコネクタであり、Amazon AppFlow上でデータの取込が実行できるコネクタです。
- ・Salesforceへのデータの取込は、Amazon AppFlowが提供する公式のSalesforceコネクタを使用しています。

イベント連携に関して

- ・イベント連携は、Salesforceの画面フローを用いて本連携で配置されるWebhookAPIを呼び出すことにより実行されます。
- ・WebhookAPIはAWS APIGatewayを経由してAWS Lambdaを呼び出すことで実行されZACおよびSalesforceへのコネクタとして動作します。
- ・ZACおよびSalesforceへの認証はAppFlowの各接続の情報を利用します。
- ・イベント連携は「Lightning Experience」のUIでのみ利用可能です。

連携フローテンプレートに関して

- ・当社より提供する「連携フローテンプレート」とは、当社が定めた標準的な連携フローに基づき、定期的にデータの出力・項目間のマッチング・データの変換・データの取込を行うものです。
- ・連携フローテンプレートは、お使いのZACが複数売上オプションをご利用か否かで、連携項目が異なります。
- ・連携フローテンプレートは、お使いのZACの設定内容により、お客様にて、項目のマッチングやデータ変換の修正が必要です。テーブルデータ取込(案件取込)機能の取込フォーマットにおける取込必須項目と、連携フローテンプレートが定義する標準項目の差分をご確認のうえ調整いただきます。
- ・連携フローテンプレートは、お客様側で連携の設定内容の変更が可能です。お客様の判断により標準連携フローから変更をする場合は、お客様の責任にて変更を実施していただく必要があります。
- ・ZACの禁則文字を含むデータは、Salesforce上で入力できていてもZACに連携することができませんので、ZACの禁則文字を含まないようにSalesforceへの入力していただく必要があります。(ZACの禁則文字 <https://zac-reforma.zendesk.com/hc/ja/articles/441210177871>)

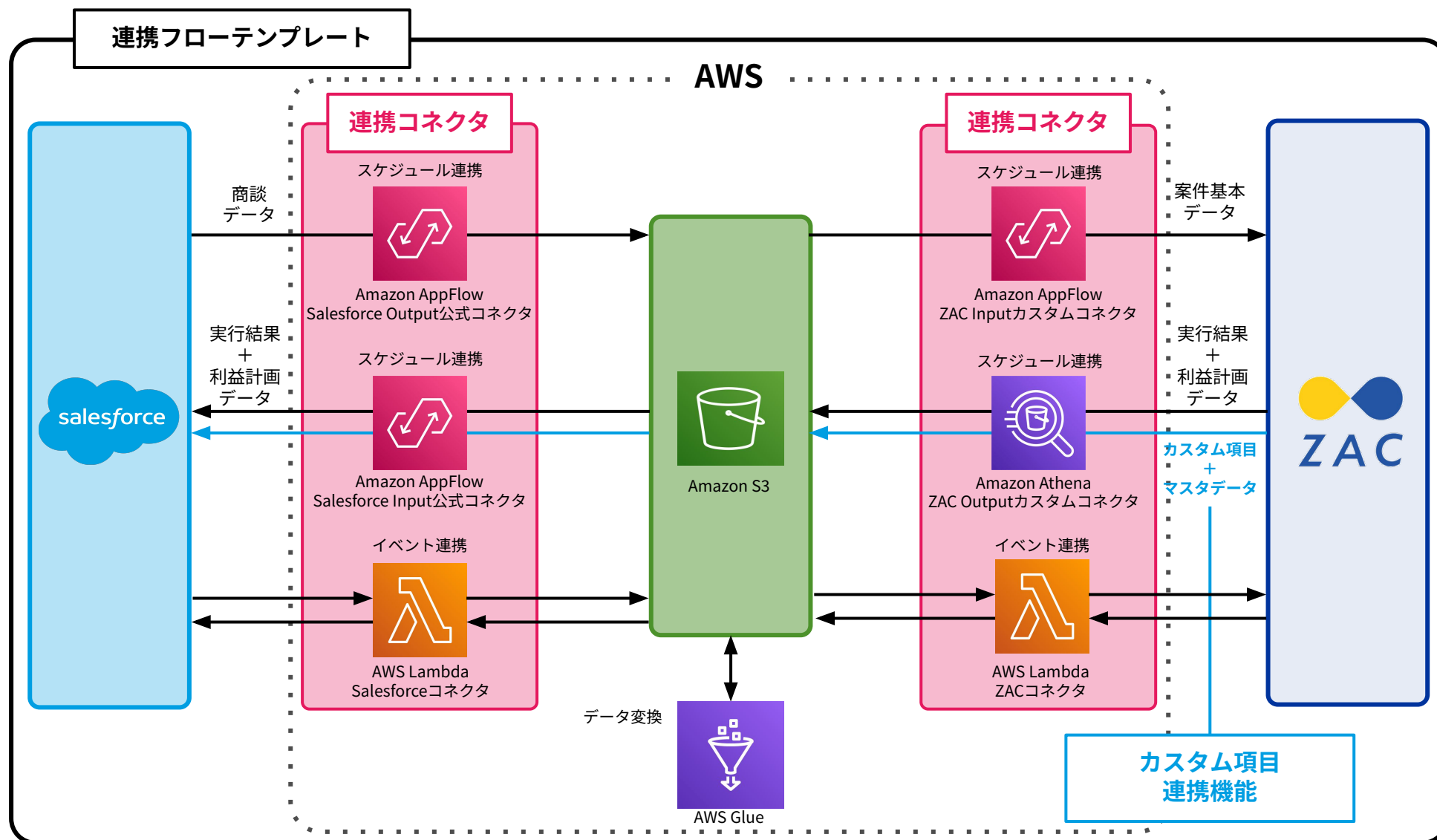
カスタム項目連携機能に関して

- ・当社より提供する「カスタム項目連携機能」とは、ZACとSalesforce との連携において必要となる項目(ZACへの連携項目、連携の実行結果等)を、Salesforce のカスタム項目に新規作成/更新をする機能です。
- ・ZACの出力マスタAPIが用意されていない項目については、カスタム項目のラベルと内部値をお客様側で手動で登録していただく必要があります。
- ・カスタム項目連携機能は新規作成/更新する項目(カスタム項目)を標準環境を基に定義しております。標準環境よりZACへ設定変更を行いテーブルデータ取込(案件取込)の取込項目に変更がある場合は、Salesforceの商談オブジェクトにてカスタム項目の追加と連携フローテンプレートの修正を実施していただく必要があります。

3. 事前準備

連携オプションの全体像

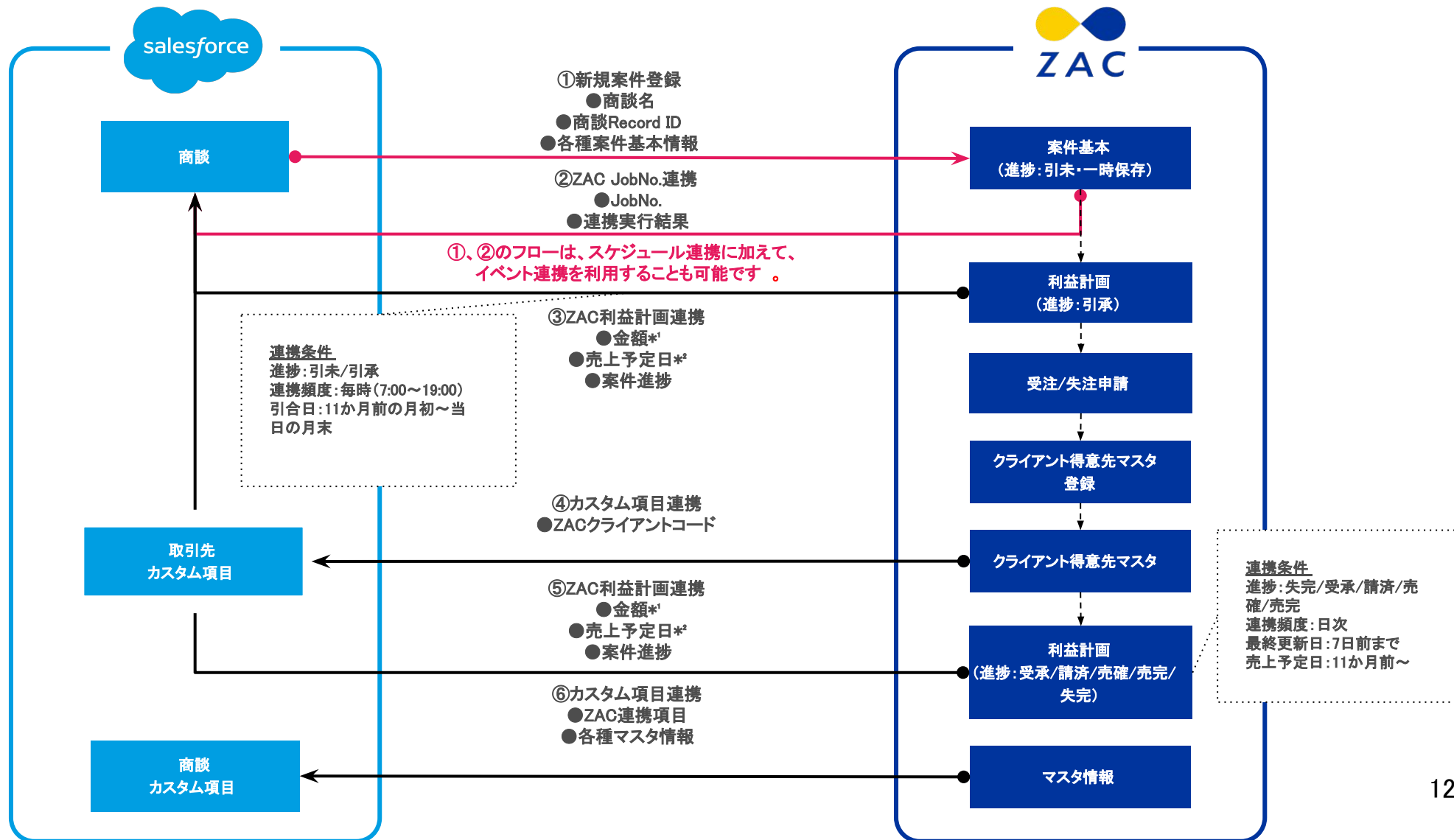
Salesforce連携オプションは、汎用的な連携コネクタである出力コネクタ/取込コネクタ、すぐに連携を開始できる連携フローテンプレート、最新のマスタ情報が連携されるプロパティ連携機能の、主に3つの機能から構成されています。



連携の概要: 連携フロー

案件基本の情報はSalesforceからZACに連携がされ、利益計画の情報はZACからSalesforceに連携がされます。

*¹金額は案件進捗が引未では連携されず、引承から連携されます *²売上予定日は、複数売上環境の場合、ZACからSalesforceへ連携されます。





連携フローの分類

複数売上オプションのご利用有無について

お使いのZAC環境が単数売上環境(1案件につき1回の売上登録)か、
複数売上オプション(1案件で複数回売上登録が可能)をご利用の環境かで分岐致します。

[アプリケーションをデプロイする](#) 際に、どちらの環境であるか入力が必要です。

お使いのZAC環境が単数売上環境か、複数売上環境かご不明な場合は、
下記の記事をご参照いただくか、弊社担当にお問い合わせください。

[【2.0.8～】【複数売上】複数売上オプションの概要 - ZAC / Reforma PSA ヘルプセンター](#)

連携の種類

連携の種類について

Salesforce連携オプションでは、下記の連携の種類がございます。

＜Salesforce→ZACの連携＞

- ・案件新規登録: 未連携のSalesforce取引に基づき、ZACに新規案件を登録します。
- ・案件更新登録: 既にZACに連携済みのSalesforce取引に対し、ZAC上で案件情報を更新します。

＜ZAC→Salesforceの連携＞

- ・受注後連携: 受注後のZAC案件の進捗や売上・利益の情報を、対応するSalesforce取引に登録します。
- ・クライアント連携: ZACクライアント・得意先マスタのクライアントコードを、対応するSalesforce取引先に登録します。
- ・カスタム項目連携: ZACの案件取込に必要な項目の入力に必要なマスタ情報を連携します。
(セットアップ時に、Salesforceに連携のためのカスタム項目が自動作成されます)

連携方式について

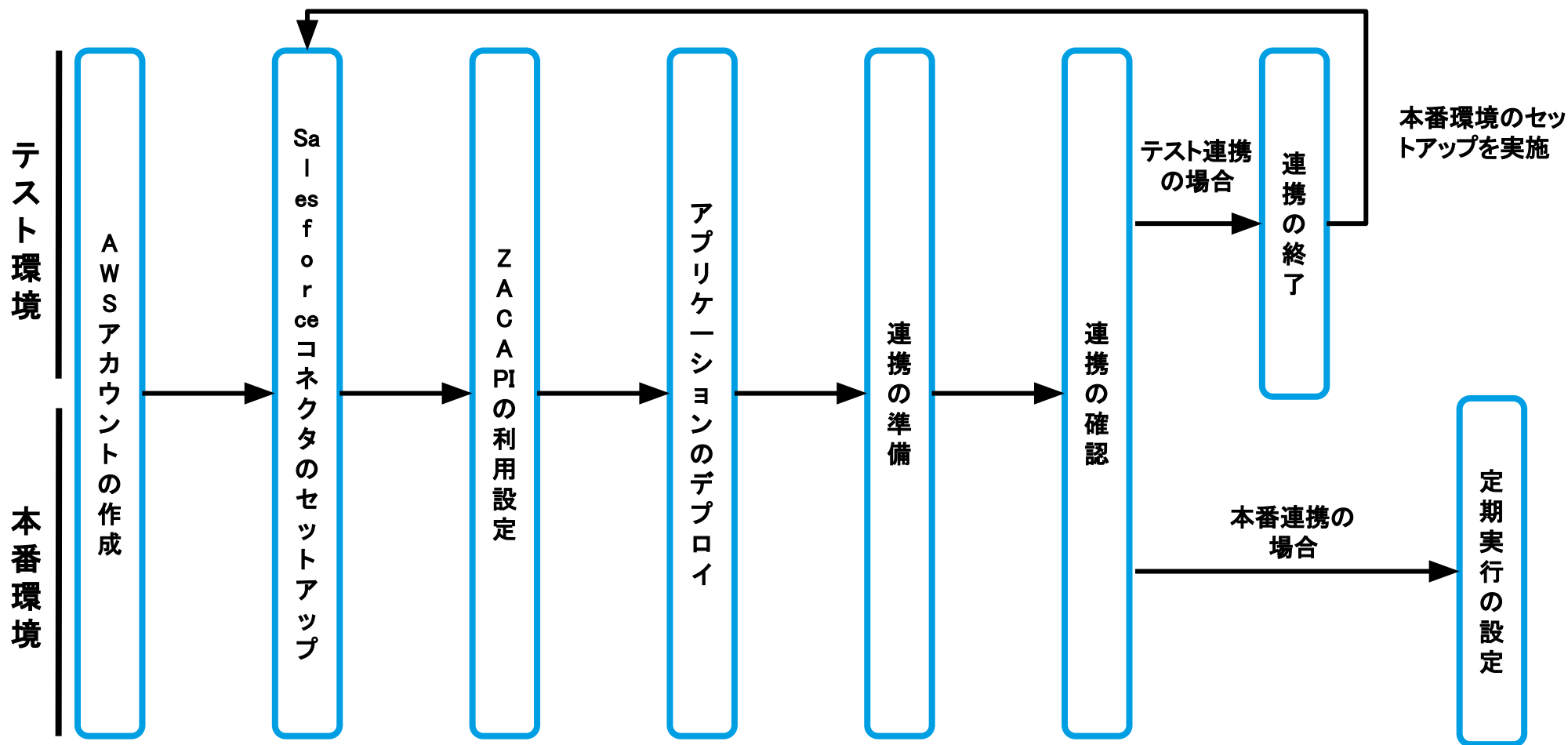
連携方式として、スケジュールを設定して定期的に連携を実行する「スケジュール連携」と、Salesforce の取引のフラグをユーザーが変更することで連携を実行することができる「イベント連携」の2種類がございます。スケジュール連携は全ての連携で可能で、イベント連携はSalesforce→ZACの連携でのみ可能です。

参考) 連携の種類と連携方式の関係

連携方向	連携の種類	スケジュール連携	イベント連携
Salesforce→ZAC	案件新規登録	○	○
	案件更新登録	○	○
ZAC→Salesforce	受注後連携	○	－
	クライアント連携	○	－
	カスタム項目連携	○	－

セットアップの流れ

本ガイドで解説をしているSalesforce連携のセットアップの一連の流れを記載しています。連携の確認にあたりチェック実行機能、またはZACテスト環境とSalesforceアプリ開発者アカウントでの検証を推奨しております。内容が重複する部分があるため、テスト環境と本番環境の混同にご注意ください。



事前準備: Salesforce商談フェーズとZAC決定確率の対応の定義

※セットアップを進めていくにあたり、事前に準備が必要な内容がございますので、事前準備について以降のご対応を最初にお願いしております。

Salesforceの商談フェーズの中で連携対象のフェーズを決定し、連携対象のフェーズとZAC決定確率の対応を設定する必要があります。

[パイプラインの設定](#)で後述を致しますが、販売パイプライン毎に、どこからどこまでのステージをZACに連携させるのかと、SalesforceのステージをZACのどの決定確率に変換するかを定義する必要があります。

整理にあたっては弊社より、セットアップ項目整理シートをご提供させていただいておりますので、こちらを基にご準備を進めていただければと思います。

弊社から提供させていただく各種アプリケーションのセットアップ時に必要な項目の整理としてセットアップ項目整理シート

(<https://zac-reforma.zendesk.com/hc/ja/articles/42820037878937>)をご利用いただくことが可能です。

参考) Salesforce商談フェーズとZAC決定確率の対応の設定例

Salesforce	フェーズ名	Prospecting	Qualification	Needs Analysis	Value Proposition	Id. Decision Makers	Perception Analysis	Proposal/Price Quote	Negotiation/Review	Closed Won	Closed Lost
	内部ID	Prospecting	Qualification	Needs Analysis	Value Proposition	Id. Decision Makers	Perception Analysis	Proposal/Price Quote	Negotiation/Review	Closed Won	Closed Lost
ZAC	名称	連携対象外	D (0 ~ 30%未満)	C (30 ~ 50%未満)	C (30 ~ 50%未満)	B (50 ~ 80%未満)	A (80 ~ 100%)	A (80 ~ 100%)	A (80 ~ 100%)	連携対象外	連携対象外
	コード	—	04	03	03	02	01	01	01	—	—

事前準備: スケジュール連携-イベント連携の運用整理

Salesforce→ZACの連携においてスケジュール連携とイベント連携を併用することが可能ですが、イベント連携とスケジュール連携を同時で行うと意図しない結果となる場合がございます。

併用する場合はスケジュール実行日時を考慮して運用整理いただく必要があります。

スケジュール連携とイベント連携の併用が可能な連携の種類

- ・案件新規登録: 未連携のSalesforce取引に基づき、ZACに新規案件を登録します。
- ・案件更新登録: 既にZACに連携済みのSalesforce取引に対し、ZAC上で案件情報を更新します。

運用整理について

- **スケジュール連携のみを行う場合**
初期設定では、月曜日～金曜日の7:00～19:00(1時間に1回)となっております。
連携頻度を変更したい場合は、コール数を考慮いただいた上でご検討ください。
※10分以内の頻度にするエラーになる場合がございます。
- **スケジュール連携とイベント連携を併用する場合**
イベント連携とスケジュール連携が同時に行われないように、
スケジュール連携時間の決定と運用ルールの整備をお願いします。
運用例) 日中はイベント連携を利用し、早朝にスケジュール連携を利用する

参考ページ

- [11. スケジュール実行の設定](#)
スケジュール連携の設定方法について説明しています。
- [参考\)各連携のコール数の考え方とコール数の試算例](#)

参考)各連携のコール数の考え方とコール数の試算例

コール数の考え方

連携の種類によって、連携1回あたりのコール数が異なります。

<スケジュール連携>

- ・案件新規登録:2コール×分割数(100件ごとに分割)
- ・案件更新登録:2コール×分割数(100件ごとに分割)
- ・受注後連携:1コール
- ・クライアント連携:1コール
- ・カスタムプロパティ連携:1コール

<イベント連携>

- ・案件新規登録:2コール(1取引ごと)
- ・案件更新登録:2コール(1取引ごと)

コール数の試算例

①全てスケジュール連携を利用する場合

- ・案件新規登録: **400コール/月** =2コール/回×(分割なし)×10回/日×20日/月(1日あたり1時間に1回、計10回の連携をする想定)
 - ・案件更新登録: **800コール/月** =2コール/回×2分割×10回/日×20日/月(1日あたり1時間に1回、計10回の連携をする想定)
 - ・受注後連携: **20コール/月** (月の営業日数を20日と仮定して、1日に1回連携する想定)
 - ・クライアント連携: **20コール/月** (月の営業日数を20日と仮定して、1日に1回連携する想定)
 - ・カスタムプロパティ連携: **20コール/月** (月の営業日数を20日と仮定して、1日に1回連携する想定)
- 合計**1,260コール/月**

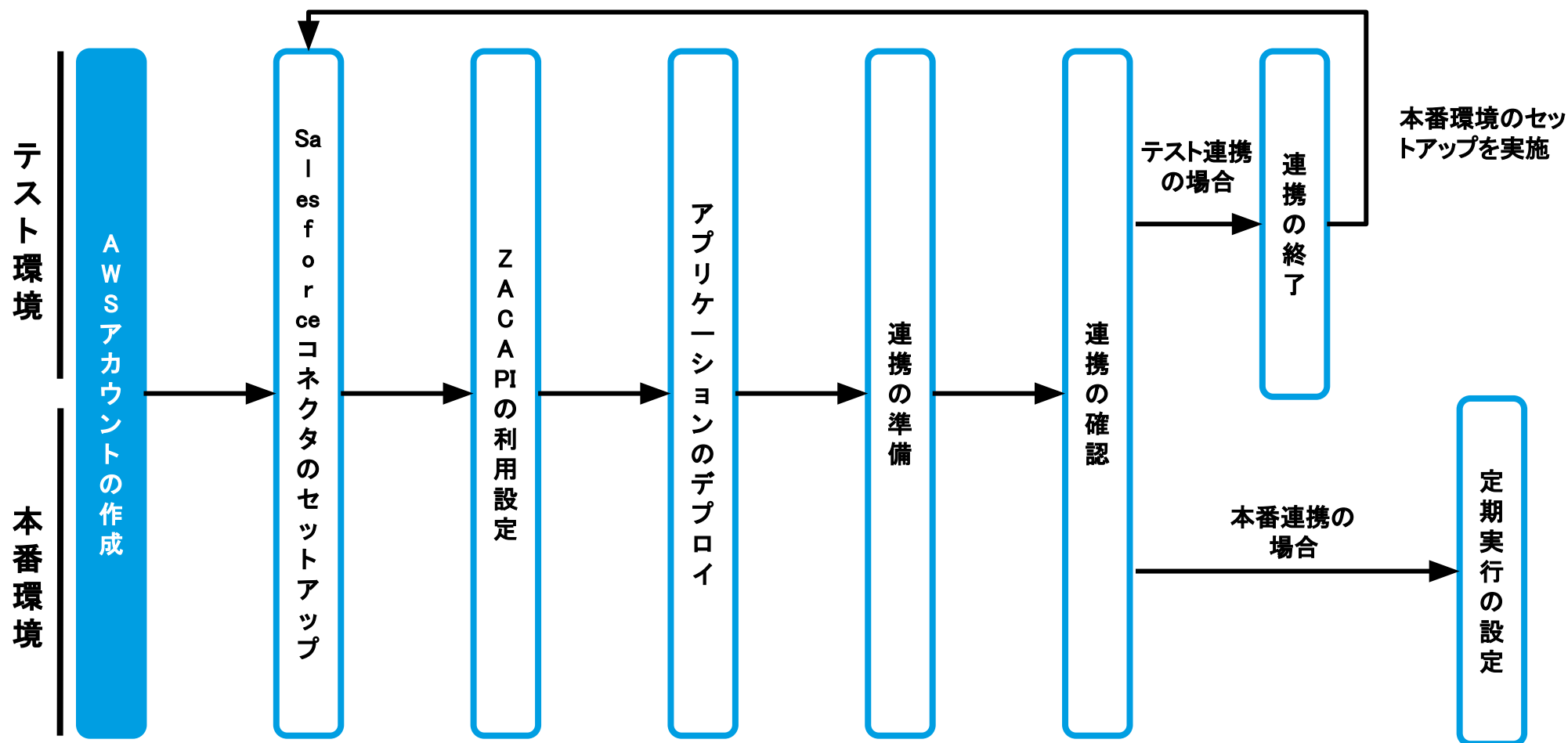
②日中はイベント連携を利用し、早朝にスケジュール連携を利用する場合

- ・スケジュール連携5種類(案件新規登録、案件更新登録、受注後連携、クライアント連携、カスタムプロパティ連携)
140コール/月 =20日/月×7コール(5種の連携の1回のコール数の和)
 - ・イベント連携
2,000コール/月 =2コール/回×50回/日×20日/月(1日50回のイベント連携が実行される想定)
- 合計**2,140コール/月**

4. AWSアカウントの作成

本章の目的

本章では、Salesforce連携オプションを使用するために、AWSアカウントの作成を行います。



AWSアカウントの作成

Salesforce連携オプションを使用するにあたり、AWSアカウントの準備が必要となります。

以下のAWS公式のドキュメントまたは本資料 P.120「[補足\)AWSアカウント作成の流れ](#)」に従って作成をお願いします。

<https://aws.amazon.com/jp/register-flow/>

※貴社にてAWSアカウント作成の手順がある場合はそちらに従ってください。

※既存のAWSアカウントでSalesforce連携オプションを使用することもできます。その場合は作成されるリソースの管理にご注意ください。

リソースの変更によりSalesforce連携オプションが使用できなくなることがあります。

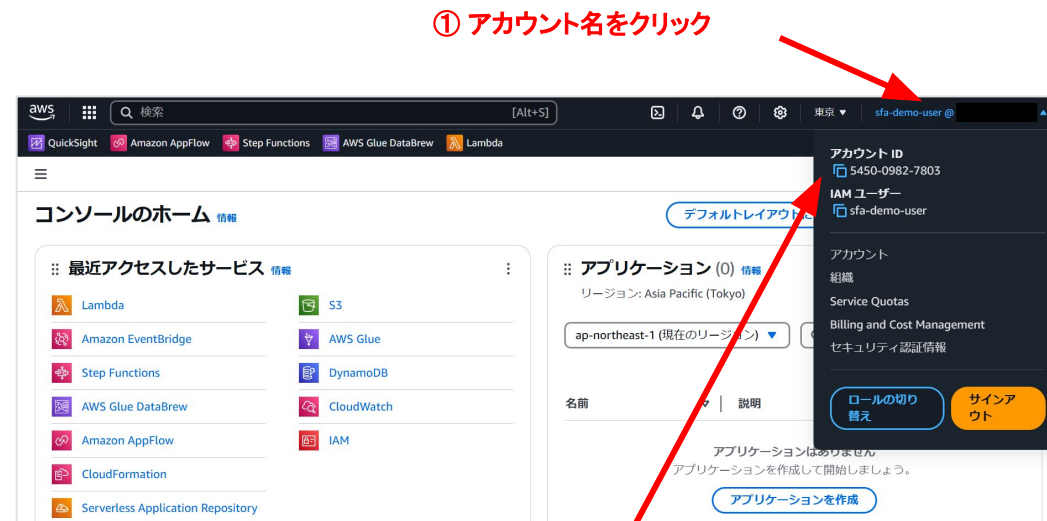


AWSアカウントIDの弊社へのご連絡

Salesforce連携オプションを貴社AWS環境でご利用になるには、Salesforce連携オプションを配布しているプライベートアプリケーションにて貴社のアカウントへのアクセスを許可する必要があります。

AWSアカウントの作成完了後、AWSコンソールにログインして頂き、下記の手順に従ってご連絡をお願いします。

- ① ホーム画面右上のアカウント名をクリックします。
- ② アカウントIDの左端のアイコンをクリックします。
- ③ クリップボードに12桁の数字が保存されますので、オロの担当者宛にご連絡ください。

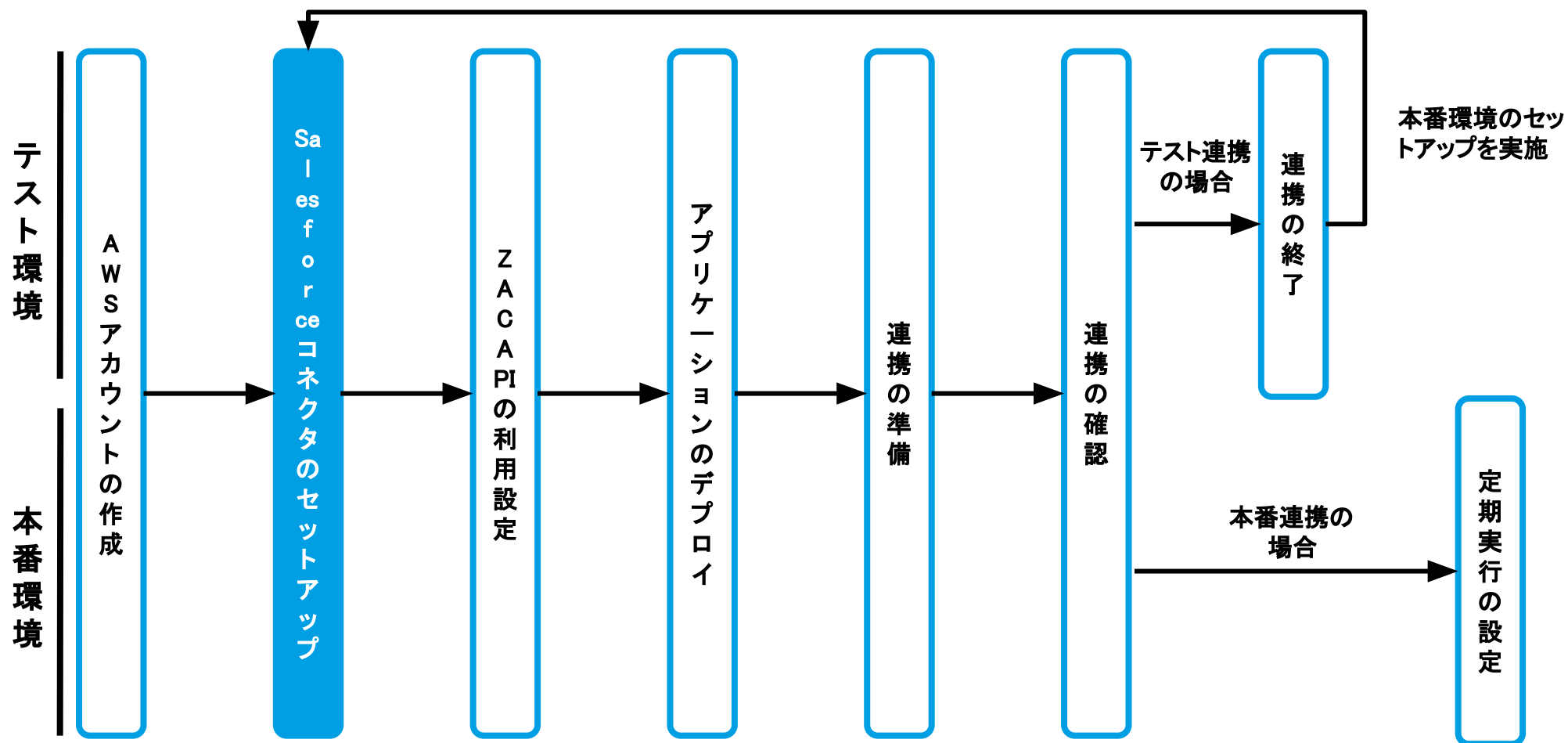


②アイコンをクリック

5. Salesforceコネクタのセットアップ

本章の目的

本章では、SalesforceとZACの案件情報を連携するための「Salesforceコネクタ」のセットアップを行います。



AppFlowのSalesforceアカウントへの接続

AWS環境とSalesforceの接続を実施します。

【Amazon AppFlowサービスの選択】

- ① AWSコンソールのリージョンが「東京」になっていることをご確認ください。「東京」以外になっている場合は、プルダウンより「アジアパシフィック（東京）ap-northeast-1」を選択してください。
- ② ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ③ 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。

※ AWSコンソールでマルチセッションサポートを有効にしている場合、接続の認証に失敗する場合があります。Salesforceコネクタのセットアップ時はマルチセッションサポートをオフにして操作をお願いいたします。

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/awsconsolehelpdocs/latest/gsg/multisession.html

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/appflow/latest/userguide/connections.html



AppFlowのSalesforceアカウントへの接続

- ④ ページ左側の「接続」を選択します。
- ⑤ 「コネクタ」のプルダウンから「Salesforce」を選択します。
- ⑥ 「接続の作成」をクリックします。
- ⑦ 以下に各設定項目についての説明を記載します。

- 接続名
「接続名」を入力します。
本番用は「salesforce-profile-prod」
テスト用は「salesforce-profile-test」と入力してください。
 - Salesforce 環境
本番用は「Production」、
テスト用は「Sandbox」を選択してください。
 - PrivateLink
「無効」を選択してください。
- ⑧ 最後に「接続する」をクリックします。



④ 「接続」をクリック

⑤ コネクタから「Salesforce」を選択

⑥ 「接続を作成」をクリック

⑦ 各項目の入力

⑧ 「接続する」をクリック

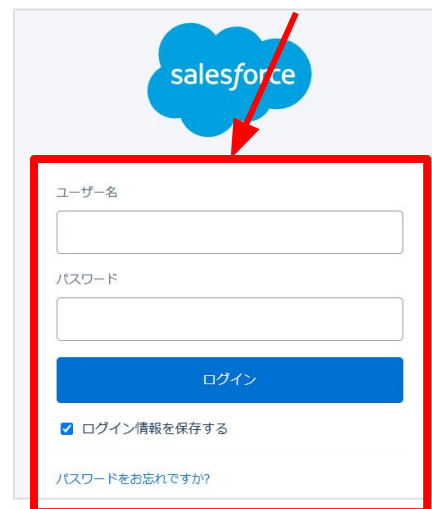
AppFlowのSalesforceアカウントへの接続

- ⑨ 表示されるウィンドウでSalesforceにログインし、
連携するアカウントを選択し、
「アカウントを選択」ボタンをクリックします。

※テスト用では「Sandbox」、
本番用では「Production」のアカウントを選択します。

- ⑩ 接続確認のウィンドウが表示された場合は、
確認後、「許可」をクリックします。
(すでに認証済みの場合は、ウィンドウは表示されません。)

- ⑨ テスト用では「Sandbox」または「developer Edition」、
本番用では「Production」のアカウントの
ユーザー名とパスワードを入力



A screenshot of the Salesforce login form. At the top is the Salesforce logo. Below it are two input fields: 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). A blue 'ログイン' (Login) button is positioned below the password field. There is a checkbox labeled 'ログイン情報を保存する' (Save login information) and a link 'パスワードをお忘れですか?' (Forgot your password?). A red box highlights the entire login form area, and a red arrow points from the text above to the 'ログイン' button.

- ⑩ 確認後、「許可」をクリック



A screenshot of the Salesforce permission confirmation dialog. At the top is the Salesforce logo. Below it is the title 'アクセスを許可しますか?' (Do you want to grant access?). The text states: 'Amazon AppFlow Embedded Login App さんが次の要求をしています:' (Amazon AppFlow Embedded Login App is making the following requests:). A list of permissions is shown: 'ID URL サービスにアクセス' (Access ID URL service), 'API を使用してユーザーデータを管理' (Manage user data using API), and 'いつでも要求を実行' (Execute requests at any time). Below this, it asks: 'salesforce_connect@oro.com のアクセスを許可しますか?' (Do you want to grant access to salesforce_connect@oro.com?) with a note '(あなたのログイン名ではありませんか?)' (Is it not your login name?). At the bottom are two buttons: '拒否' (Deny) and '許可' (Allow). A red box highlights the '許可' button, and a red arrow points from the text above to it. At the very bottom, there is a note: '個人設定に移動して、いつでもアクセス権を取り消すことができます。' (Move to personal settings to revoke access at any time).

AppFlowのSalesforceアカウントへの接続

- ⑩ 接続が成功すると、AppFlowで新しい接続が表示されます。
これにより、AppFlowとSalesforceの連携が完了しました。

🟢 接続 Salesforce-profile-prod が正常に作成されました。

Amazon AppFlow > 接続

接続を管理

コネクタを選択して、関連する接続をすべて表示します。

コネクタ

 **Salesforce**
Salesforce は、顧客関係管理 (CRM) ソリューションであり...

接続 (1) 詳細を表示 削除 編集 新しい接続にコピー 接続を作成

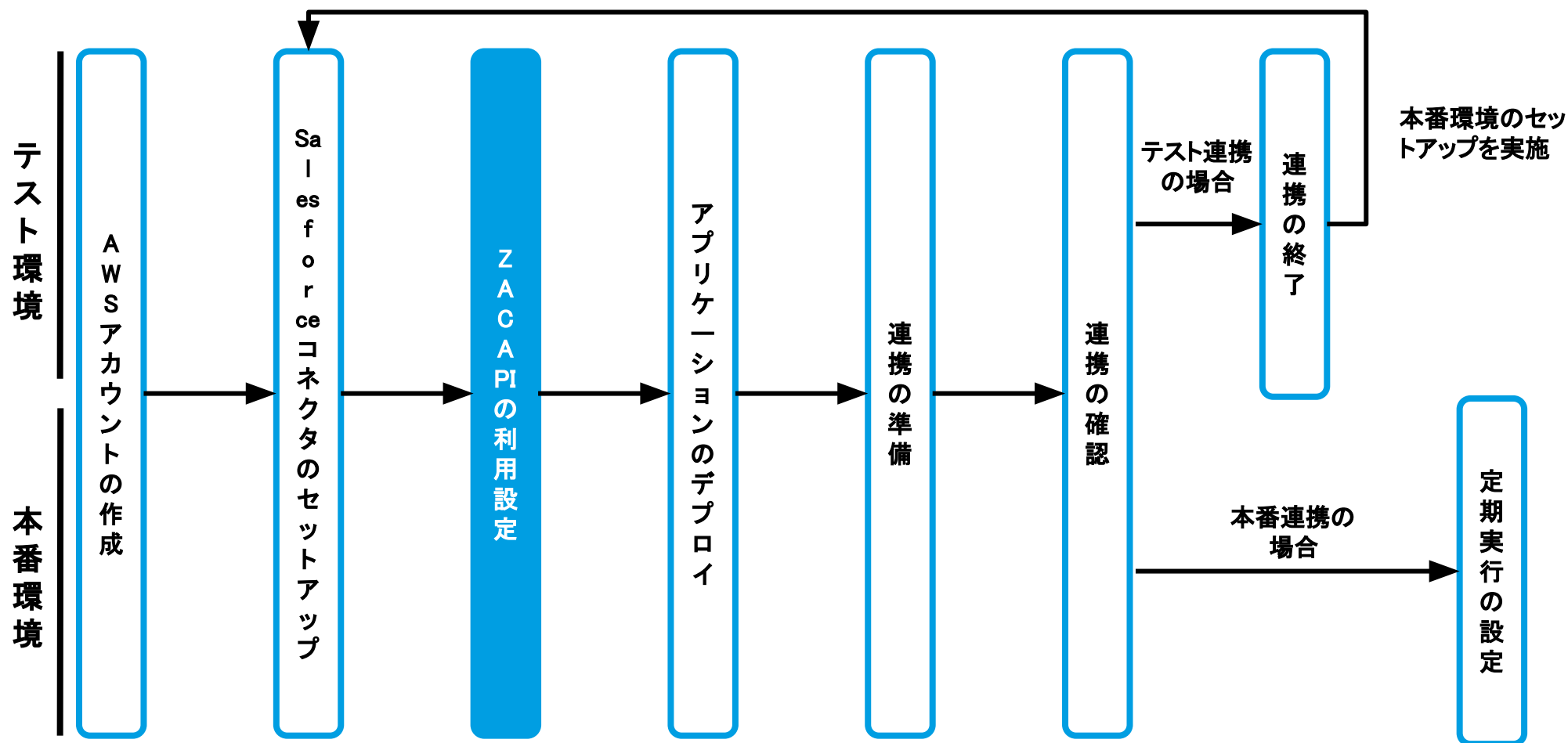
🔍 接続をフィルター

	接続名	接続モード	インスタンス URL	最終更新日
☐	Salesforce-profile-prod	パブリック	https://orocom-dev-ed.develop.my.salesforce.com	2024年11月18日

6. ZAC APIの利用設定

本章の目的

Salesforce連携オプションではZAC APIを使用します。テスト環境で連携テストを行う場合はテスト環境で、本番環境で連携を行う場合は本番環境で、「APIアプリケーションマスタ、社員マスタ、権限マスタ」の設定を行います。





APIアプリケーションマスタの設定

AWSからZAC APIへアクセスするための認証方法の設定をAPIアプリケーションマスタにて行います。

※テスト環境で連携テストを行う場合はテスト環境で、
本番環境で連携を行う場合は本番環境でそれぞれ設定を行います。

- ① ZAC TOP画面のメニューから、「経理・管理＞マスタ＞APIアプリケーションマスタ」を開きます。
- ② 「新規追加」をクリックします。
- ③ 「アプリケーション名」に任意の名称を登録します。
これは、ZACのAPIアプリケーションマスタに表示される名称です。
- ④ 「アプリケーションID」に任意の名称を登録します。
これは、API認証時にパラメータとして渡すID(文字列)です。
貴社ZACに登録済みの他のアプリケーションIDと重複しなければ
どのような文字列でも構いません。
- ⑤ 「新しいパスワード」に入力します。
アプリケーションIDと同様、認証時にパラメータとして渡す必要のある文字列です。
- ⑥ 認証フローを「Resource owner credential flow」に変更します。
- ⑦ アクセストークンの有効期間を129,600に変更します。
アクセストークンは貴社AWS環境の認証情報管理サービス(AWS Secrets Manager)に保管され、定期的に更新されます。
- ⑧ 最後に、「追加」をクリックします。

以降の設定の手順で、アプリケーションIDとパスワードを使用しますので、参照できる場所に情報の記録をお願いします。

①「新規追加」をクリック

②～⑦ 左記に従い、
各項目に入力

⑧「追加」をクリック



API接続ユーザーの設定

APIの利用には、ZACの任意のアカウントを使用します。

ここではAPIで利用する社員マスタの設定を行います。

※テスト環境で連携テストを行う場合はテスト環境で、本番環境で連携を行う場合は本番環境で、それぞれ設定を行います。

貴社ZAC環境に「API ユーザー」が存在する場合は、そちらをお使いいただくことを推奨します。

初めてAPIユーザーを使用する場合、パスワードを設定してください。

次回パスワード変更は「しない」を選択します。

「API ユーザー」が存在しない場合、

新たに社員マスタから登録してください。

AWS環境から社外接続を経由した接続を使用するため、APIユーザーは下記の条件を満たしている必要があります。

- ・ライセンスマスタ、権限マスタそれぞれで「社外接続」のライセンスおよび権限、各種アウトプットの権限が付与されている。

(次ページ参照)

- ・社員マスタのE-mailに、有効なメールアドレスが登録されている。

- ・社員マスタの「次回パスワード変更」で「しない」が選択されている。

以降のSalesforce連携オプションの設定の手順でAPI接続に使用する「ユーザー名」と「パスワード」を使用しますので、参照できる場所に情報の記録をお願いします。

API ユーザーの「編集」をクリック

メールアドレスを入力

パスワードを入力

「しない」を選択

「保存」をクリック

API接続ユーザーの権限設定

Salesforce連携オプションは、AWS環境からの接続となるため、対象のアカウントに対して、「権限マスタ>接続方法:社外接続」より、Salesforce連携オプションで使用する権限設定が必要です。

※テスト環境で連携テストを行う場合はテスト環境で、本番環境で連携を行う場合は本番環境で、それぞれ設定を行います。

権限設定は、接続方法:通常・社外接続の両方で設定が必要となります。(通常接続「○」かつ、社外接続「○」に設定が必要です)
「API ユーザー」を使用する場合は、「API ユーザー」に対して、権限を設定してください。

※社外接続の設定の詳細については、ヘルプセンター「[社外接続 - ZAC / Reforma PSA ヘルプセンター](#)」をご参照ください。

①API ユーザーを検索

■権限マスタ

部門 指定しない 雇用形態 指定しない 権限タイプ 出力 編集方法 ☒ 個別 ☐ グループ

社員 9995 API ユーザー 役職 指定しない 社員範囲指定 ~ 接続方法 ☒ 通常 ☐ 社外接続 検索

②接続方法を選択し検索

③Salesforce連携オプションで使用する権限を「○」に変更

修正 ○(修正権限あり)、△(閲覧権限あり)、×(アクセス不可) 修正ライセンス、 閲覧ライセンス、 ライセンスなし

社員\画面	出力															その他																						
	売上データ集計表	売上推移表	仕入データ集計表	業務報告書出力	キャスティング一覧	作業時間集計表	案件CSV出力	クライアント・得意先	支払先マスターCSV出力	社員マスターCSV出力	部門マスターCSV出力	休日マスターCSV出力	科目マスターCSV出力	入金バターンマスター	支払バターンマスター	費目マスターCSV出力	集計区分マスターCSV	権限マスターCSV出力	売上区分マスターCSV	単位マスターCSV出力	見積明細CSV出力	売上明細データ	請求発行データ	回収予定表	前受管理表	売掛年表	入金実績表	支払先残高表	支払先元帳	仕入明細データ	アウトプット	経理・管理	マスター	警告画面	社外接続	ファイル管理	テーブルデータ取込	お知らせ
9995 API ユーザー	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×

④権限設定が終了したら「修正」をクリック



補足)API接続ユーザーの社外接続時の権限設定

社外接続の使用とアウトプット画面の表示のため、
以下の権限を使用します。

- ・その他 → **アウトプット**
- ・その他 → **社外接続**

ZACへの案件の取り込みのため、以下の権限を使用します。

- ・その他 → **テーブルデータ取込**

Salesforceへの案件の連携のため、以下の権限を使用します。

- ・出力 → **案件CSV出力**

カスタム項目連携機能では、APIユーザーに以下の権限を
付与することにより、ZACからSalesforceへ連携することができます。

- ・出力 → **クライアント・得意先マスタCSV出力**
- ・出力 → **集計区分マスタCSV出力**
- ・出力 → **社員マスタCSV出力**
- ・出力 → **売上区分マスタCSV出力**

※ APIユーザーに権限を付与しない場合、Salesforceへは仮の値が登録されます。仮の値を削除し、ラベルと内部値(各マスタのコード)をご登録ください。

※ Salesforceのカスタム項目設定につきましては、P.50「[カスタム項目連携機能のセットアップの確認](#)」もご確認ください。

APIユーザーに権限が付与されている場合

(下記はSalesforce、設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション>集計区分(案件基本)の画面です。)

Salesforce

アクション	値	API 参照名
☐ 編集 削除 無効化	9986 - 営業1課	9986
☐ 編集 削除 無効化	9985 - 営業2課	9985
☐ 編集 削除 無効化	9983 - 制作1課	9983
☐ 編集 削除 無効化	9981 - 開発1課	9981
☐ 編集 削除 無効化	9980 - 開発2課	9980
☐ 編集 削除 無効化	9979 - 制作2課	9979

Salesforceに連携されたカスタム項目に、
ZACに登録されているマスタが値として登録されます。

APIユーザーに権限が付与されていない場合

Salesforce

アクション	値	API 参照名	デフォルト
☐ 編集 削除 無効化	仮の値	-	☐

Salesforceに連携されたカスタム項目に、
ZACに登録されているマスタは登録されず、仮の値が登録されます。

補足)API接続ユーザーの社外接続時の権限設定

APIユーザーに社外接続の設定が適切に設定されているかどうかは、ZACの社外接続画面よりログインすることによって確認できます。

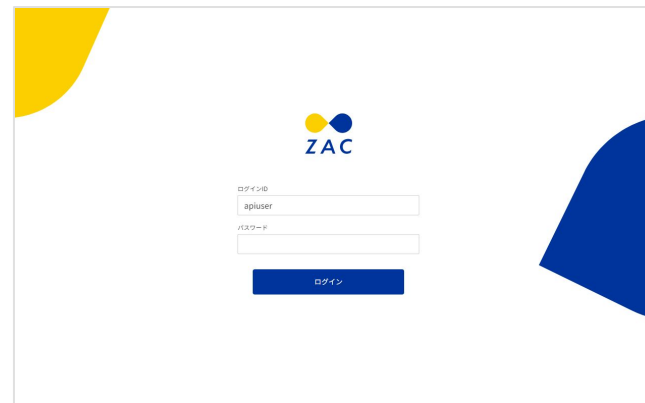
- ① ブラウザを開き、貴社社外接続URL「 <https://secure.zac.ai/>「環境名」へ移動します。
- ② 「社外接続の認証」画面で、APIユーザーのログインIDおよびパスワードを入力し、「接続」ボタンを押します。
- ③ ZACのログイン画面が表示されますので、APIユーザーのログインIDおよびパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押します。
- ④ 左側のメニューより「アウトプット」を選択し、アウトプット一覧に遷移します。
- ⑤ 権限が付与されているアウトプットのみ表示されますので、必要なアウトプットが表示されていることをご確認ください。

社外接続の認証画面



社外接続の認証画面のスクリーンショット。ZACのロゴと「社外接続の認証」というタイトルがあります。ログインIDの入力欄には「apiuser」が入力されています。パスワードの入力欄は空です。接続ボタンがあります。下部には利用しなかった場合のタイムアウトと接続後のアクセスに関する注釈が記載されています。

ZACのログイン画面



ZACのログイン画面のスクリーンショット。ZACのロゴと「ログインID」と「パスワード」の入力欄があります。apiuserというIDが入力されています。ログインボタンがあります。

アウトプット一覧



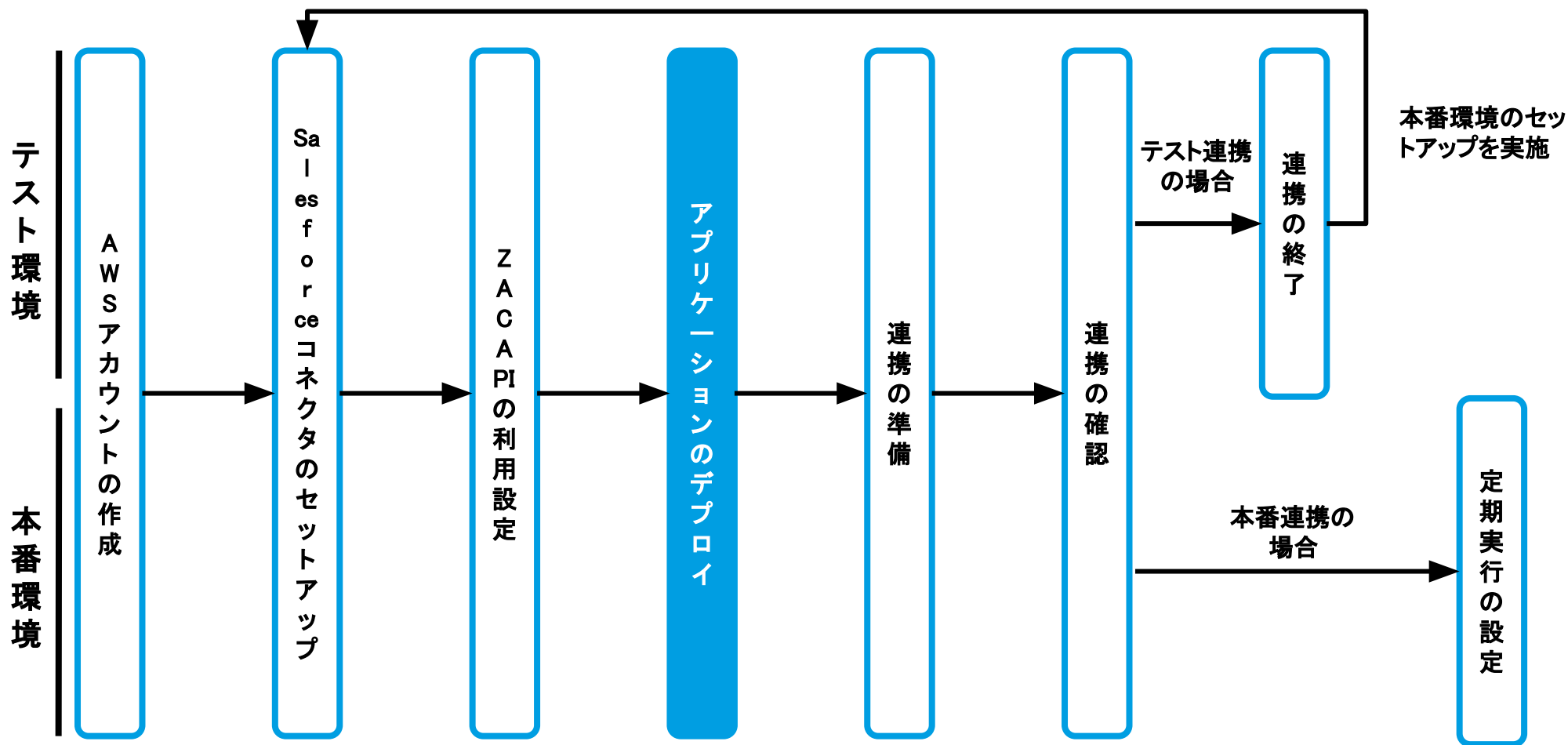
アウトプット一覧画面のスクリーンショット。左側のメニューで「アウトプット」が選択されています。メインコンテンツエリアには「管理帳票」セクションがあり、「売上」ボタンと「案件CSV出力」があります。下部には「マスタ」セクションがあり、「クライアント・得意先マスタCSV出力」、「集計区分マスタCSV出力」、「社員マスタCSV出力」、「売上区分マスタCSV出力」があります。

社外接続からAPIユーザーが閲覧できる権限が付与されているアウトプットが表示されます。

7. アプリケーションのデプロイ

本章の目的

本章では、ZACとSalesforceの連携を行う各種アプリケーションのデプロイを行います。



AWS環境へのアプリケーションの配置

AWS環境へ取込コネクタを配置します。

【Serverless Application Repositoryサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「Serverless」と入力します。
- ② 検索一覧から「Serverless Application Repository」をクリックします。



- ② Serverless ApplicationRepositoryをクリック

AWS環境へのアプリケーションの配置

サーバーレスアプリケーションのページを開くと、マイアプリケーション一覧が表示されます。

- ① AWSコンソールのリージョンが「東京」になっていることをご確認ください。「東京」以外になっている場合は、プルダウンより「アジアパシフィック(東京) ap-northeast-1」を選択してください。
- ② 使用可能なアプリケーションをクリックすると、ログイン中のアカウントに設置可能なアプリケーション一覧が表示されます。
- ③ プライベートアプリケーションをクリックします。
- ④ 検索欄に「ZacSfaIntegrationPackage」と入力します。
- ⑤ カスタムIAMロールまたはリソースポリシーを作成するにチェックを入れます。

アプリケーションの一覧に表示されます。

アプリケーションの一覧に表示されない場合は、貴社AWSアカウントへの許可が完了していない可能性があります。

このドキュメントのP.24「[AWSアカウントIDの弊社へのご連絡](#)」をご確認の上、ご連絡ください。

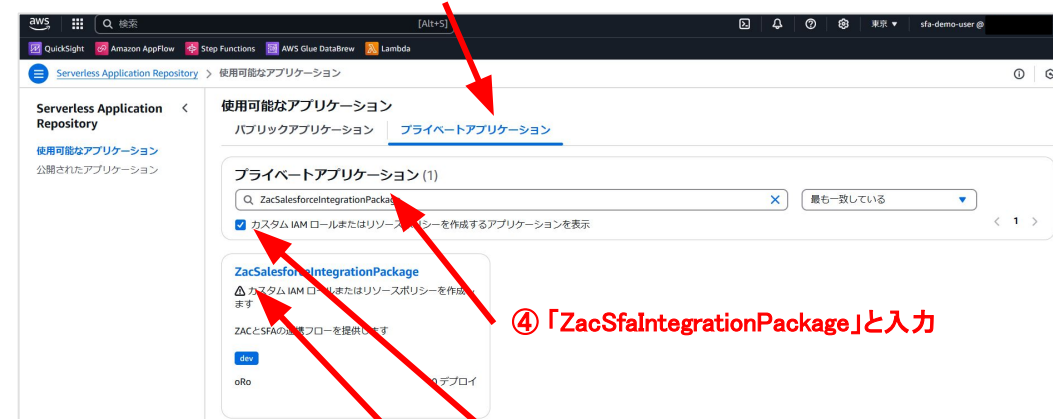
- ⑥ アプリケーションのセットアップに進むには、アプリケーションをクリックします。

① リージョンが「東京」になっていることを確認



② 使用可能なアプリケーションをクリック

③ プライベートアプリケーションをクリック



④ 「ZacSfaIntegrationPackage」と入力

⑤ チェックボックスにチェックを入れる

⑥ アプリケーションをクリック

AWS環境へのアプリケーションの配置

アプリケーションに関する説明が表示されます。



AWS環境へのアプリケーションの配置

ページ下部の「アプリケーションの設定」の各設定項目についての説明を記載します。

※入力に誤りがあるとエラーとなるため、ご注意ください。

変更が可能な項目

- アプリケーション名
AWS上でアプリケーションを管理するための名前を入力します。
テスト環境要の場合「ZacSfaIntegrationPackageTest」、
本番環境用の場合「ZacSfaIntegrationPackageProd」と入力してください。
- Environment
テスト環境用の場合「test」、
本番環境用の場合「prod」と入力してください。

②Environmentに
テスト環境用の場合「test」、
本番環境用の場合「prod」と入力

①アプリケーション名に
テスト環境要の場合「ZacSfaIntegrationPackageTest」、
本番環境用の場合「ZacSfaIntegrationPackageProd」と入力

アプリケーションの設定

アプリケーション名
AWS CloudFormation を介して作成されたこのアプリケーションのスタック名
ZacSfaIntegrationPackage

Environment
テスト環境の場合「test」本番環境の場合「prod」と入力してください。
prod

SfaApplication
接続先のSFAシステムを入力してください。
hubspot

SubscriptionEmail
カスタムテーブル機能で使用するワンタイムパスワード及びクエリ結果の通知先メールアドレスを入力してください。

ZacAppName
接続先ZACのアプリケーション名を入力してください。

ZacClientId
ZACのAPIアプリケーションマスタ画面で設定したアプリケーションIDを入力してください。

ZacClientSecret
ZACのAPIアプリケーションマスタ画面で設定したパスワードを入力してください。

ZacUserid
ZACへのAPI接続を行うユーザー名を入力してください。

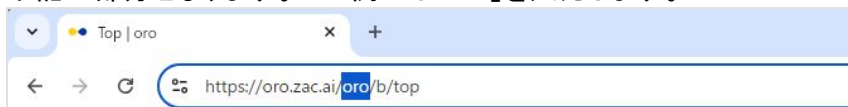
ZacUserPassword
ZACへのAPI接続を行うユーザーのパスワードを入力してください。

AWS環境へのアプリケーションの配置

入力が必要な項目

- SfaApplication
「salesforce」と入力してください。
- SubscriptionEmail
連携に使用するZACの案件の抽出条件を設定するアプリケーションの通知先として使用します。
ログインに必要な情報や出力結果が通知されます。

- ZacAppName
貴社ZAC環境のアプリケーション名(環境名)を入力します。
※ アプリケーション名(環境名)はZACにログインしたURLの下記の部分となります。この例では「oro」を入力します。



- ZacClientId
ZACの [APIアプリケーションマスタ画面で設定したアプリケーションID](#) を入力してください。
- ZacClientSecret
ZACの [APIアプリケーションマスタ画面で設定したパスワード](#) を入力してください。
- ZacUserId
ZACへの [API接続を行うユーザー名](#) を入力してください。
- ZacUserPassword
ZACへの [API接続を行うユーザーのパスワード](#) を入力してください。

③各項目に左記の説明通り入力する

アプリケーションの設定

アプリケーション名
AWS CloudFormation を介して作成されたこのアプリケーションのスタック名
ZacSfaIntegrationPackage

Environment
テスト環境の場合「test」本番環境の場合「prod」と入力してください。
prod

SfaApplication
接続先のSFAシステムを入力してください。
hubspot

SubscriptionEmail
カスタムテーブル機能で使用するワンタイムパスワード及びクエリ結果の通知先メールアドレスを入力してください。

ZacAppName
接続先ZACのアプリケーション名を入力してください。

ZacClientId
ZACのAPIアプリケーションマスタ画面で設定したアプリケーションIDを入力してください。

ZacClientSecret
ZACのAPIアプリケーションマスタ画面で設定したパスワードを入力してください。

ZacUserId
ZACへのAPI接続を行うユーザー名を入力してください。

ZacUserPassword
ZACへのAPI接続を行うユーザーのパスワードを入力してください。

AWS環境へのアプリケーションの配置

入力が必要な項目

- CodeClientLength
貴社ZAC環境のクライアント得意先コードの桁数をご入力ください。
設定変更を行っていない場合は5桁となりますので、
初期値のまま修正いただく必要はございません。
- CodeClientPersonLength
貴社ZAC環境のクライアント得意先担当者コードの桁数をご入力ください。
設定変更を行っていない場合は2桁となりますので、
初期値のまま修正いただく必要はございません。
- CodeClientSectionLength
貴社ZAC環境のクライアント得意先部門コードの桁数をご入力ください。
設定変更を行っていない場合は2桁となりますので、
初期値のまま修正いただく必要はございません。
- FlowType
貴社のZAC環境により入力項目が変わります(参考:P.13 [連携フローの分類](#))
単数売上環境の場合には「B1」を、
複数売上環境の場合には「B2」をご入力ください。

④各項目に左記の説明通り入力する

▼ ZacSfaIntegration

CodeClientLength
ZACクライアント得意先コードの桁数を指定してください。
5

CodeClientPersonLength
ZACクライアント得意先担当者コードの桁数を指定してください。
2

CodeClientSectionLength
ZACクライアント得意先部門コードの桁数を指定してください。
2

FlowType
連携のタイプを入力してください。(セットアップガイドを参照して、A1、A2、B1、B2から選択して入力してください)
B2

☐ 私は、このアプリケーションがカスタム IAM ロールとリソースポリシーを作成し、ネストされたアプリケーションをデプロイすることを了承します。

キャンセル 戻る デプロイ

AWS環境へのアプリケーションの配置

最後に「このアプリがカスタムIAMロールとリソースポリシーを作成することを承認します。」

にチェックを入れ、デプロイをクリックすると貴社AWS環境に取込コネクタが設置されます。

デプロイをクリック後、エラーが無ければしばらくしてアプリケーションのアプリケーション概要の画面に遷移します。

この時点ではデプロイ(配置)が進行中で、「デプロイ」タブをクリックすると進捗を見ることができます。

デプロイの実行中にSubscriptionEmailに入力したメールアドレス宛に差出人「AWS Notifications <no-reply@sns.amazonaws.com>」より、タイトル「AWS Notification - Subscription Confirmation」というメールが届きます。このメール本文に記載のリンク「Confirm subscription」をクリックしてください。「Subscription confirmed!」と表示されれば通知を受け取ることができます。

⑤チェックを入れる

⑥デプロイをクリック

⑦デプロイのタブを開くと、進捗を確認できます
(ステータスが「Create complete」となれば完了です)

デプロイ	リソースタイプ	最終更新時刻	ステータス
4 週間前	Lambda application	4 週間前	Create complete

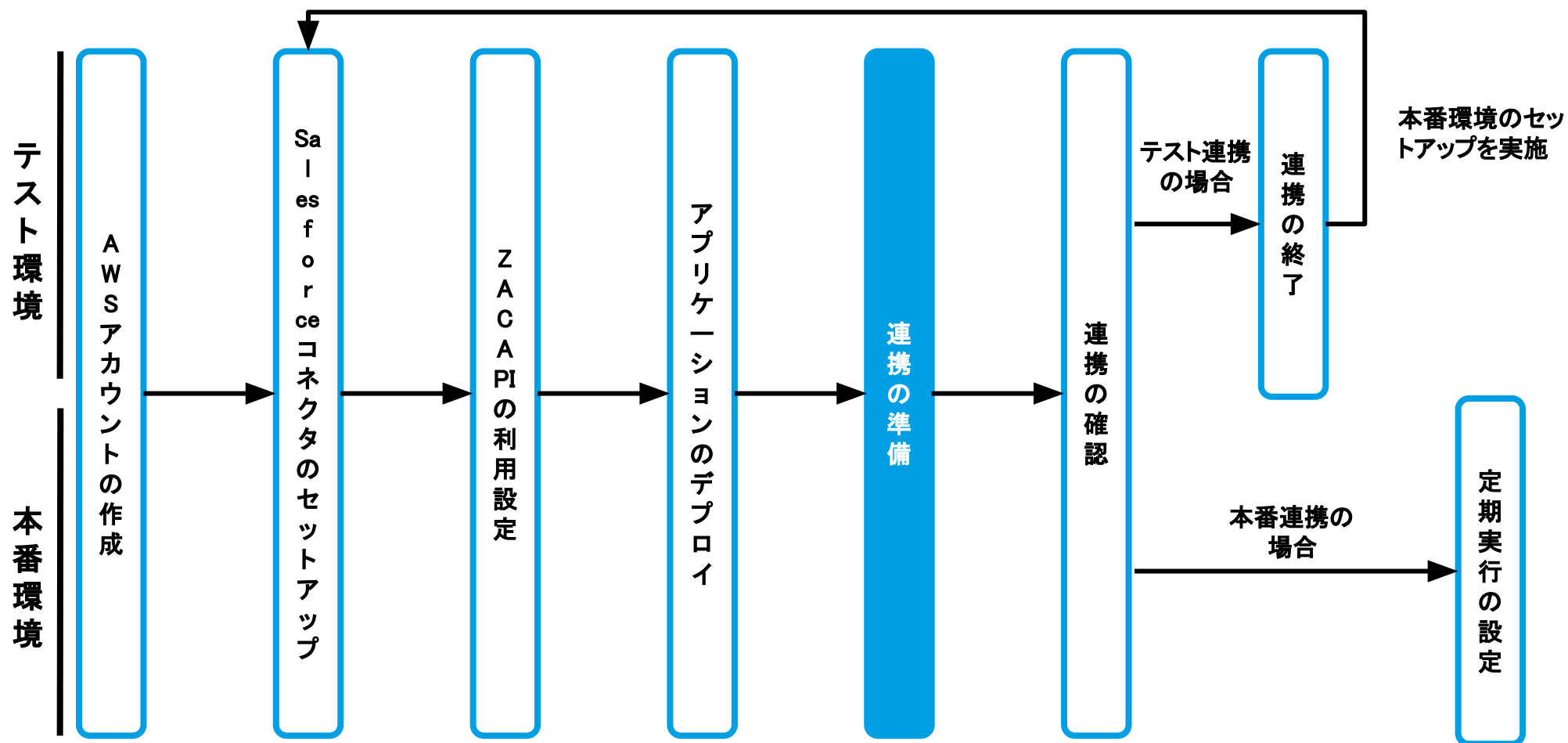


⑧SubscriptionEmailに入力したメールアドレス宛のメールを確認し、「Confirm subscription」をクリック

8. 連携の準備

本章の目的

本章では、連携を開始するために必要なSalesforce側の設定を行っていきます。



8-1. カスタム項目の調整

カスタム項目連携機能のセットアップの確認

Salesforce上でカスタム項目連携機能が
セットアップされているか確認します。

- ① 設定ボタンをクリックします。
- ② 画面左上の検索欄に「オブジェクト」と入力します。
- ③ 「オブジェクトマネージャー」を選択します。
- ④ 画面右上の検索欄に「商談」と入力します。
- ⑤ 「商談」を選択します。

① 設定をクリック



② 検索欄に「オブジェクト」と入力



③ 「オブジェクトマネージャー」を選択

④ 検索欄に「商談」と入力



⑤ 「商談」を選択

カスタム項目連携機能のセットアップの確認

- ⑥「項目とリレーション」をクリックすると
項目が一覧で表示されます。
- ⑦ カスタム項目連携で作成されたZAC連携用の項目が
表示されていることを確認します。

作成された項目の中で、どの項目が連携必須となる項目かを確認していきます。

⑥「項目とリレーション」をクリック



⑦カスタム項目が連携されていることを確認します

ZAC連携必須項目の確認

ZACのテーブルデータ取込リファレンスでお使いのZAC環境での連携必須項目について確認します。

- ① 「その他＞テーブルデータ取込リファレンス」をクリックします。
- ② 取込種別「案件基本+利益計画」を選択します。
- ③ 1-1. ファイル1(案件基本)の取込書式を表示し、
入力条件が「必須」となっている項目を確認します。

②「案件基本+利益計画」を選択

テーブルデータ取込リファレンス 取込種別: 案件基本+利

案件基本+利益計画

1. 取込書式

- 1-1. ファイル1(案件基本)
- 1-2. ファイル2(売上項目)
- 1-3. ファイル3(予定原価)

2. 取込結果

- 2-1. 案件基本
- 2-2. 売上項目
- 2-3. 予定原価
- 2-4. 利益計画
- 2-5. 受注
- 2-6. 案件基本

3. 取込結果 (売上)

- 3-1. 見積
- 3-2. 見積明細
- 3-3. 請求登録
- 3-4. 売上登録
- 3-5. 案件基本

取込の基本情報

方式	ファイル数	ファイル
ファイルアップロード	3つ	CSV

取込テーブル

No.	ファイル名称	要否
1	案件基本	任意
2	売上項目	任意
3	予定原価	任意

①「テーブルデータ取込リファレンス」をクリック

③入力条件が「必須」となっている項目を確認

1. 取込書式

1-1. ファイル1(案件基本)

No.	項目名	入力条件	データ型	桁数	関連マスタ	取込ルール
1	旧JOBNo.	マキー任意	文字列	全半角20文字		
2	案件名	必須	文字列	全角44半角88文字		
3	決定確率コード	条件付必須	マスタコード	コード 2桁	決定確率マスタ	
4	事業セグメントコード	必須	マスタコード	コード 3桁	事業セグメントマスタ	
5	プロジェクトコード	任意	マスタコード	コード 4桁	プロジェクト	プロジェクトコード先頭のPは不要
6	営業担当者コード	必須	マスタコード	コード 4桁	社員マスタ	
7	集計区分コード	必須	マスタコード	コード 4桁	集計区分マスタ	
8	得意先コード	必須	マスタコード	コード 5桁	クライアント・得意先マスタ	
9	得意先仮登録名	任意	文字列	全角18半角36文字		得意先コード=仮登録コード: 必須、#仮登録
10	得意先部門コード	必須	マスタコード	コード 2桁	クライアント・得意先部門マスタ	
11	得意先部門仮登録名	任意	文字列	全角18半角36文字		得意先部門コード=仮登録コード: 任意、#仮登録
12	得意先担当者コード	必須	マスタコード	コード 2桁	クライアント・得意先担当者マスタ	
13	得意先担当者仮登録名	任意	文字列	全角18半角36文字		得意先担当者コード=仮登録コード: 任意、#仮登録

※テーブルデータ取込リファレンスの確認方法の詳細は
下記をご参照ください

[【2.0.14～】テーブルデータ取込書式リファレンスの操作](#)

(補足)ZAC連携必須項目の整理方法

連携必須項目の精査を行うにあたり、ヘルプセンターより、[セットアップ項目整理シート](#)をダウンロードしてご利用することができます。

ZACテーブルデータ取込リファレンスの取込書式をコピー＆ペーストして、項目の整理することが可能です。

また、ZAC標準環境に対して設定変更した項目は、Salesforceのカスタム項目の項目タイプが「テキスト」で作成されるため、ZACのテーブルデータ取込リファレンスの「データ型」と異なる場合は、Salesforceのカスタム項目の項目タイプの変更の対応が必要になります（以降、補足ページにて解説）。

1. 取込書式						
1-1. ファイル1(案件基本)						
No.	項目名	入力条件	データ型	桁数	関連マスタ	取込ルール
1	旧JOBNo.	▽キー任意	文字列	全半角10文字		
2	案件名	○必須	文字列	全角44半角88文字		
3	決定確率コード	条件付必須	マスタコード	コード 2桁	決定確率マスタ	
4	事業セグメントコード	○必須	マスタコード	コード 3桁	事業セグメントマスタ	
5	プロジェクトコード	△任意	マスタコード	コード 4桁	プロジェクト	プロジェクトコード先頭のPは不要
6	直or代理店	○必須	コード・選択	-		選択肢: 01: 直 / 02: 代理店。
7	営業担当者コード	○必須	マスタコード	コード 6桁	社員マスタ	
8	集計区分コード	○必須	マスタコード	コード 2桁	集計区分マスタ	
9	事業セグメント2コード	○必須	マスタコード	コード 3桁	事業セグメント2マスタ	
10	得意先コード	○必須	マスタコード	コード 5桁	クライアント・得意先マスタ	
11	得意先仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		得意先コード=仮登録コード：必須、≠仮登録コード：入力不可
12	得意先部門コード	○必須	マスタコード	コード 3桁	クライアント・得意先部門マスタ	
13	得意先部門仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		得意先部門コード=仮登録コード：任意、≠仮登録コード：入力不可
14	得意先担当者コード	○必須	マスタコード	コード 2桁	クライアント・得意先担当者マスタ	
15	得意先担当者仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		得意先担当者コード=仮登録コード：任意、≠仮登録コード：入力不可
16	請求先コード	○必須	マスタコード	コード 5桁	クライアント・得意先マスタ	
17	請求先仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		請求先コード=仮登録コード：必須、≠仮登録コード：入力不可
18	請求先部門コード	○必須	マスタコード	コード 3桁	クライアント・得意先部門マスタ	
19	請求先部門仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		請求先部門コード=仮登録コード：任意、≠仮登録コード：入力不可
20	請求先担当者コード	○必須	マスタコード	コード 2桁	クライアント・得意先担当者マスタ	
21	請求先担当者仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		請求先担当者コード=仮登録コード：任意、≠仮登録コード：入力不可
22	クライアントコード	○必須	マスタコード	コード 5桁	クライアント・得意先マスタ	
23	クライアント仮登録名	△任意	文字列	全角18半角36文字		クライアントコード=仮登録コード：必須、≠仮登録コード：入力不可
24	引合日	○必須	日付	yyyy/M/d		引合日≤受注予定日≤売上予定日
25	受注予定日	○必須	日付	yyyy/M/d		引合日≤受注予定日≤売上予定日
26	売上予定日	△任意	日付	yyyy/M/d		引合日≤受注予定日≤売上予定日
27	請求予定日	△任意	日付	yyyy/M/d		空欄なら自動計算（売上予定日）
28	入金予定日	△任意	日付	yyyy/M/d		空欄なら自動計算（売上予定日）
29	完了予定日	○必須	日付年月	yyyy/M/末		空欄なら自動計算（売上予定日）。売上予定日≤完了予定日。完了予定日は月末
30	案件内容	△任意	文字列・複行	全半角1000文字		
31	メモ	△任意	文字列・複行	全半角1000文字		
32	取込進捗	○必須	コード・選択	-		選択肢: 01: 引未 / 02: 引承 / 03: 受承。

カスタム項目の調整

前ページのZAC連携項目の整理で背景が赤色になった項目で、ZACに連携する項目については、本章でカスタム項目の調整を行います。

※入力条件が必須でない項目は必ずしも調整する必要はありませんが、ZACに連携させたい場合は調整してください。

※設定変更によりZAC標準環境から項目追加がある場合でも、カスタム項目連携機能のデプロイにより、

Salesforce側でカスタム項目が自動で作成されます。自動作成されたカスタム項目に対して調整を行ってください。

※項目名を変更している場合は、対象の項目に対する調整の可否を弊社にお問い合わせください。

カスタム項目の調整方法については、項目により調整方法が異なりますので、下記を参考に調整してください。

- 事業セグメントコード、プロジェクトコードについて
カスタム項目のプルダウンの変更が必要です。
調整方法は、事業セグメントコードの調整例に沿って進めてください。
(P.55 [事業セグメントコードのプルダウン項目の作成](#))
- 設定変更で追加した項目について
カスタム項目のデータ型の変更が必要です。
プルダウンが必要な項目については、プルダウン項目も変更をすることが必要です。
調整方法については下記例に従って進めてください。
(例にない項目を調整する場合も基本的には同様の手順で可能ですが、ご不明の場合は弊社にお問い合わせください)
 - P.57 [「事業セグメント2」のデータ型変更とプルダウン項目作成](#)
 - P.59 [「納品予定日」のデータ型変更](#)
 - P.61 [カスタムフィールド\(数値\)の更新](#)
 - P.62 [カスタムフィールド\(コンボボックス\)の更新](#)

事業セグメントのプルダウン項目作成

以降のページでは、Salesforceに作成されたカスタム項目の修正手順について解説します。

「事業セグメント」はZACからAPI連携できない項目のため、Salesforce側で手動でカスタム項目を編集する必要があります。

- ①「設定＞オブジェクトマネージャー＞商談＞項目とリレーション」の項目一覧から「事業セグメント(案件基本)」を選択します。
- ②初期値で登録されている値を削除します。

①「事業セグメント(案件基本)」をクリック



② 削除ボタンをクリック

事業セグメントのプルダウン項目作成

- ③「新規」をクリックします。
- ④ZACに登録されている事業セグメント名を入力して「保存」をクリックします。
- ⑤登録された値について、
「編集」をクリックして編集画面を開き、
対応する事業セグメントコードをAPI参照名に入力して、
「保存」をクリックします。
対応する事業セグメントコードはZACの事業セグメントマスタで
確認することが可能です。
- ⑥全ての事業セグメントについて⑤の作業を行い、
Salesforceのカスタム項目「事業セグメント(案件基本)」の
プルダウンとZACの事業セグメントマスタを対応させます。

ZAC

事業セグメントマスタ

キーワード キーワードを入力 使用不可 ☐ 使用不可も表示

クリア 検索

検索結果

コード	事業セグメント名	事業セグメントカナ	事業セグメント略称	使用不可	新規登録
001	その他	ソノタ	その他	×	1
002	システム開発	システム開発	システム開発	×	1
003	コンサルティング	コンサルティング	コンサルティング	×	1

③「新規」をクリック

Salesforce

値

新規 並び替え 置換 印刷用に表示 グラフの色

選択済みのものを削除 選択済みのものを無効化 選択済みのものを置換

☐ アクション 値 API 参照名 デフォルト グラフの色 更新者

選択リスト値の追加
事業セグメント(案件基本)

以下の 1 つ以上の選択リスト 値を追加します。値は 1 行につき 1 つ存在する必要があり、値のラベルと API 参照名の両方で使用されます。
値が、無効な 値の API 参照名と一致する場合、その値は 以前のラベルと共に再度有効になります。
値が、無効な 値のラベルと一致し、API 参照名と一致しない場合、新しい値が作成されます。

その他
システム開発
コンサルティング

保存 キャンセル

④事業セグメント名を入力して
「保存」をクリック

⑤ 登録された値について、
編集画面を開いてAPI参照名に、
ZACの事業セグメントコードを入力し、
「保存」をクリック

値

新規 並び替え 置換 印刷用に表示 グラフの色

選択済みのものを削除 選択済みのものを無効化 選択済みのものを置換

API 参照名	値	デフォルト	グラフの色
001	その他	☐	動的に割り当て済み
002	システム開発	☐	動的に割り当て済み
003	コンサルティング	☐	動的に割り当て済み

選択リスト値の編集
事業セグメント

選択リストの値を入力してください。デフォルト 値に設定する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

表示ラベル その他

API 参照名 001

デフォルト ☐ マスターリストのデフォルト値に設定する

グラフの色 ☐ 動的に割り当て済み

保存 キャンセル

補足)「事業セグメント2」のデータ型変更とプルダウン項目作成

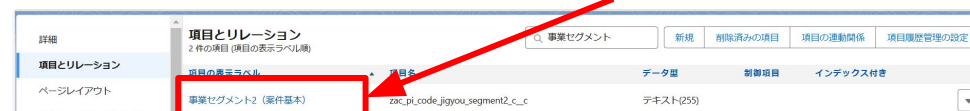
設定変更により「事業セグメント2」を追加されている場合、Salesforceのカスタム項目を更新します。

事業セグメント2の場合は、事業セグメントと同様にプルダウン項目を調整することに加え、データ型を変更する必要があります。

※名称変更等で事業セグメント2が存在するか不明な場合、弊社担当にお問い合わせください。

- ①「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「事業セグメント2(案件基本)」を選択します。
- ②「編集」をクリックします。
- ③「データ型の変更」をクリックします。

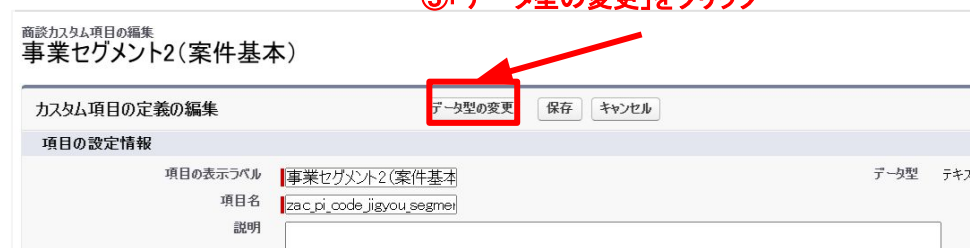
①「事業セグメント2(案件基本)」をクリック



②「編集」をクリック



③「データ型の変更」をクリック



補足)「事業セグメント2」のデータ型変更とプルダウン項目作成

- ④データ型の中から「選択リスト」を選び、
右下の「次へ」をクリックします。
- ⑤各値を入力し、右下の「保存」をクリックします。
- ⑥「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」
の項目一覧から「事業セグメント2(案件基本)」を選択し、
P.56 [事業セグメントの場合](#)と同様に、
各値のAPI参照名にZACの事業セグメント2コードを入力します。

④「選択リスト」をクリックし、
画面右下の「次へ」をクリック

- ⑤ZACに登録されている事業セグメント2名を入力し、
画面右下の「保存」をクリック

項目の表示ラベル 事業セグメント2(案件基本)

各値を改行で区切って入力します。

フロー
ストック

☐ 値を入力欄でもなく文字コード順に表示
☐ 最初の値をデフォルト値とする
☐ 値セットで定義された値に選択リストを制限します

- ⑥各値のAPI参照名に
ZACの事業セグメント2コードを入力

アクション	値	API 参照名	デフォルト	グラフの色
☐ 編集 削除 無効化	フロー	001	☐	動的に割り当て済み
☐ 編集 削除 無効化	ストック	002	☐	動的に割り当て済み

補足)「納品予定日」のデータ型変更

設定変更により「納品予定日」を追加されている場合、
Salesforceのカスタム項目を更新します。

納品予定日の場合は、事業セグメントと同様にプルダウン項目を
調整することに加え、データ型を変更する必要があります。

※名称変更等で納品予定日が存在するか不明な場合、弊社担当にお問い合わせください。

- ①「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」
の項目一覧から「納品予定日(案件基本)」を選択します。
- ②「編集」をクリックします。
- ③「データ型の変更」をクリックします。

①「納品予定日(案件基本)」をクリック

項目とリレーション	項目名	データ型	制約項目	インデックス付き
納品予定日(案件基本)	zac_pi_date_nouhin_yotei_date__c	テキスト(255)		

②「編集」をクリック

商談 カスタム項目
納品予定日(案件基本)
商談項目に戻る

カスタム項目の定義の詳細

項目の設定情報

項目の表示ラベル 納品予定日(案件基本) オブジェクト名

③「データ型の変更」をクリック

商談カスタム項目の編集
納品予定日(案件基本)

カスタム項目の定義の編集

項目の設定情報

項目の表示ラベル 納品予定日(案件基本) データ型 テキスト

項目名 zac_pi_date_nouhin_yotei_c

説明

補足)「納品予定日」のデータ型変更

- ④データ型の中から「日付」を選び、
右下の「次へ」をクリックします。
- ⑤ステップ2: 詳細入力の画面に移行すると、
画面右側の「保存」をクリックします。

☐ 数値

☐ 選択リスト

☐ 選択リスト (複数選択)

☐ 通貨

☐ 電話

☒ 日付

☐ 日付/時間

④「日付」をクリックし、
画面右下の「次へ」をクリック

⑤「保存」をクリック

ステップ 2: 詳細を入力

項目の表示ラベル: 納品予定日 (案件基本)

項目名: zsc_pi_date_nouhin_yotei_d

説明:

ステップ 2/3

前へ 保存 次へ キャンセル

補足) カスタムフィールド(数値)の更新

フィールドタイプが数値のカスタムフィールドを案件基本に設定している場合、Salesforceの項目一を更新します。

※任意項目で連携が不要の場合には更新は必要ありません。

- ①「設定＞オブジェクトマネージャー＞商談＞項目とリレーション」の項目一覧から対象の項目を選択します。
- ②「編集」をクリックします。
- ③「データ型の変更」をクリックします。
- ④ データ型の中から「日付」を選び、右下の「次へ」をクリックします。
- ⑤ ステップ2: 詳細入力の画面に移行すると、画面右側の「保存」をクリックします。

① 対象の項目をクリック

② 「編集」をクリック

③ 「データ型の変更」をクリック

④ 「数値」を選択し、「次へ」をクリック

⑤ 「保存」をクリック

補足) カスタムフィールド(コンボボックス)の更新

フィールドタイプが数値のカスタムフィールドを案件基本に設定している場合、Salesforceの項目一を更新します。

※任意項目で連携が不要の場合には更新は必要ありません。

- ①「設定＞オブジェクトマネージャー＞商談＞項目とリレーション」の項目一覧から対象の項目を選択します。
- ②「編集」をクリックします。
- ③「データ型の変更」をクリックします。
- ④ データ型の中から「選択リスト」を選び、「次へ」をクリックします。
- ⑤ 選択リストを編集し、「保存」をクリックします。

ドロップダウンの設定を行います。

設定する内部名は、ZACテーブルデータ取込リファレンスに記載の選択肢を入力してください。

[【2.0.14～】テーブルデータ取込書式リファレンスの操作](#)

参考) カスタムフィールド(コンボボックス)
(案件基本画面 プルダウン)

① 対象の項目をクリック

② 「編集」をクリック

③ 「データ型の変更」をクリック

④ 「数値」を選択し、「次へ」をクリック

⑤ 選択リストを編集し、「保存」をクリック

アクション	値	API 参照名	デフォルト	グラフの色	更新者
☐ 編集 ☐ 削除	コンボ1	コンボ1	☐	動的に割り当て済み	Kawakubo Takumi 2025/06/03 14:00
☐ 編集 ☐ 削除	コンボ2	コンボ2	☐	動的に割り当て済み	Kawakubo Takumi 2025/06/03 14:00
☐ 編集 ☐ 削除	コンボ3	コンボ3	☐	動的に割り当て済み	Kawakubo Takumi 2025/06/03 14:00

補足)ZACへの連携対象とするカスタム項目の「必須項目」設定

ZACへの連携対象のカスタム項目は、ユーザーの入力を制御するため、Salesforce設定画面で「必須項目」設定を行います。

※連携に必要な項目は下記です。

([セットアップ項目整理シート](#)をご参照ください)

- Salesforce項目
 - 商談名
 - フェーズ
- カスタム項目
 - セットアップ項目シートで入力条件が「必須」で旧JOBNo.、案件名、決定確率コード、取込進捗以外の項目全て

- ①「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「必須項目」設定をしたい項目を選択します。(ここでは例として「事業セグメント(案件基本)」を選択します。)
- ②「編集」をクリックします。
- ③「一般的なオプション>必須項目」で、「値の入力を必須にする」にチェックします。
- ④「保存」をクリックします。
- ⑤「必須項目」設定をしたい全ての項目について、上記①～④の操作を繰り返します。

①「必須項目」設定をしたい項目を選択
(例として「事業セグメント(案件基本)」を選択)

②「編集」をクリック

④「保存」をクリック

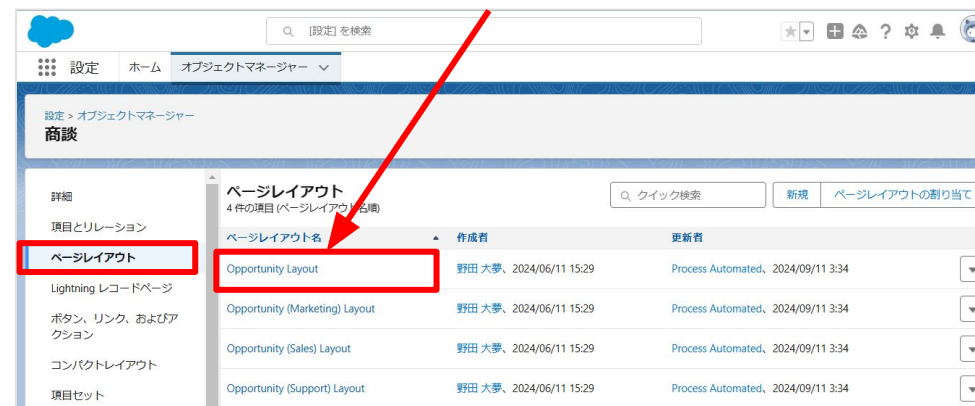
③「値の入力を必須にする」をチェック

補足) ページレイアウトの設定

ZACへの連携対象のカスタム項目を、Salesforce商談の登録画面で入力できるよう、ページレイアウトの設定を行います。

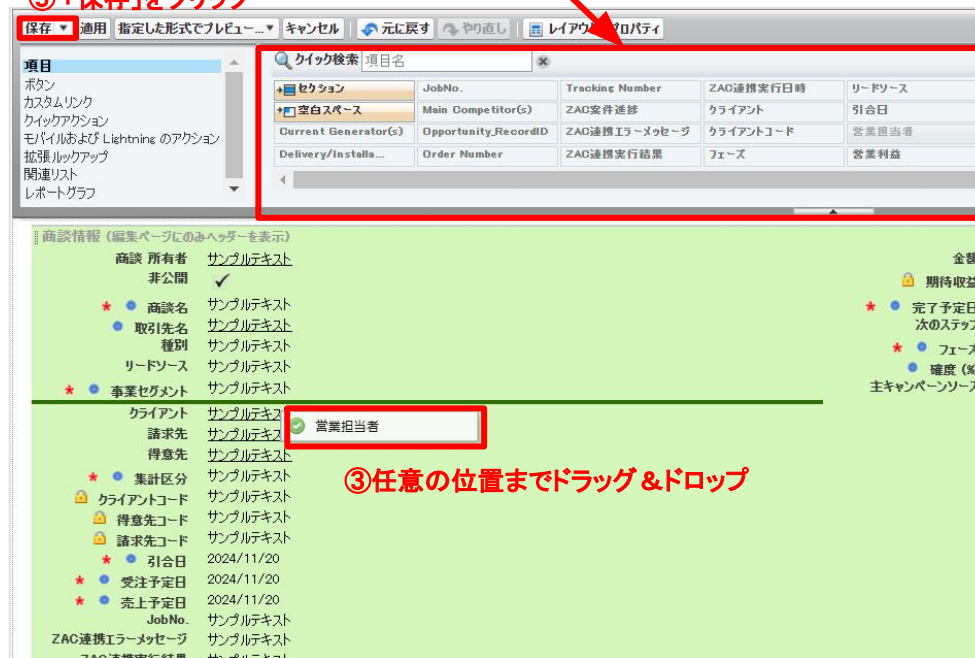
- ① 「設定>オブジェクトマネージャー>商談>ページレイアウト」から、「Opportunity Layout」をクリックします。
- ② 画面上部からZACへの連携対象のカスタム項目を選択します。
- ③ 選択した項目を表示したい任意の位置までドラッグ & ドロップします。
- ④ ZACへの連携の項目全てについて、
 - ①～③の操作を繰り返します。※
- ⑤ 最後に「保存」をクリックします。

①「Opportunity Layout」をクリック



②ZACへの連携対象のカスタム項目を選択

⑤「保存」をクリック



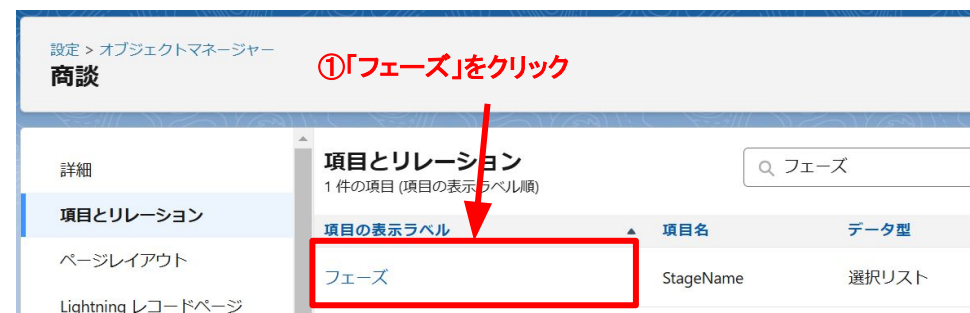
③任意の位置までドラッグ & ドロップ

8-2. フェーズIDと決定確率の変換設定

連携対象フェーズの整理

ZACへの連携対象としたいフェーズのAPI参照名を取得します。

- ①「設定>オブジェクトマネージャー>商談>項目とリレーション」の項目一覧から「フェーズ」を選択します。
- ② 画面下部の「商談 フェーズ 選択リスト値」において、ZACへの連携対象としたいフェーズのAPI参照名を確認します。
- ③ [セットアップ項目整理シート](#)を用いて、連携対象のSalesforceフェーズとZAC決定確率を対応させて整理します。



② 連携対象のフェーズのAPI参照名の値を確認

商談 フェーズ 選択リスト値

アクション	フェーズ名	API 参照名	種別	確率
編集 削除 無効化	ZAC連携前	ZAC連携前	進行中	10%
編集 削除 無効化	ZAC連携前失注	ZAC連携前失注	不成立	0%
編集 削除 無効化	D-1 ZAC連携	D-1 ZAC連携	進行中	20%
編集 削除 無効化	D-2 見積提示	D-2 見積提示	進行中	30%
編集 削除 無効化	C-1 具体的な提案ができています	C-1 具体的な提案ができています	進行中	40%
編集 削除 無効化	C-2 キーパーソンが参加している	C-2 キーパーソンが参加している	進行中	50%
編集 削除 無効化	C-3 課題の整理ができています	C-3 課題の整理ができています	進行中	60%
編集 削除 無効化	B-1 課題に対する解決策を提示している	B-1 課題に対する解決策を提示している	進行中	70%
編集 削除 無効化	B-2 決裁者が賛同している	B-2 決裁者が賛同している	進行中	80%
編集 削除 無効化	A 内諾	A 内諾	進行中	90%
編集 削除 無効化	受注	受注	成立	100%
編集 削除 無効化	失注	失注	不成立	0%

③ セットアップ項目整理シートの入力例

フェーズ	ZAC連携前	ZAC連携前失注	D-1 ZAC連携	D-2 見積提示	C-1 具体的な提案ができています	C-2 キーパーソンが参加している	C-3 課題の整理ができています	B-1 課題に対する解決策を提示している	B-2 決裁者が賛同している	A 内諾	受注	失注
連携対象	対象外	対象外	対象外	対象	対象	対象	対象	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外
フェーズ API参照名	ZAC連携前	ZAC連携前失注	D-1 ZAC連携	D-2 見積提示	C-1 具体的な提案ができています	C-2 キーパーソンが参加している	C-3 課題の整理ができています	B-1 課題に対する解決策を提示している	B-2 決裁者が賛同している	A 内諾	受注	失注
ZAC決定確率			D (0 ~ 30%未満)	D (0 ~ 30%未満)	C (30 ~ 50%未満)	C (30 ~ 50%未満)	C (30 ~ 50%未満)	B (50 ~ 80%未満)	B (50 ~ 80%未満)	A (80 ~ 100%)		
ZAC決定確率ID			04	04	03	03	03	02	02	01		

Salesforce商談フェーズ-ZAC決定確率の変換設定

AWSで、Salesforce商談フェーズとZAC決定確率のデータ変換の設定を行います。

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackage」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

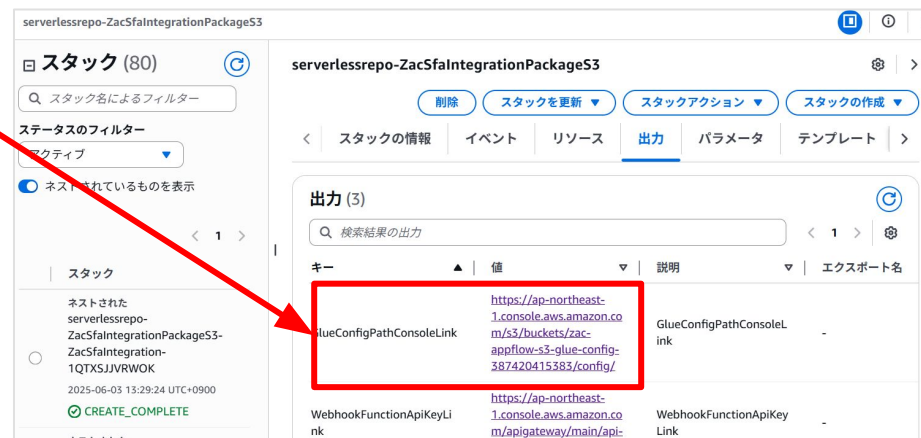
①「CloudFormation」をクリック



②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackage」をクリック



③キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリック



Salesforce商談フェーズ-ZAC決定確率の変換設定

- ④ オブジェクトの「stage.csv」にチェックを入れ、「ダウンロード」をクリックします。
- ⑤ ダウンロードしたCSVを開き、事前に整理した「Salesforce商談フェーズの内部ID」と「ZACの決定確率コード」を入力します。
整理方法については [こちら](#) をご参照ください。
CSVの作成例として、下記キャプチャをご参照ください。
- ⑥ CSVが作成できたら、再びAWSの画面に戻り、「アップロード」をクリックします。
- ⑦ ドラッグアンドドロップで作成した「stage.csv」をアップロードし、「アップロード」をクリックします。

⑥ 「アップロード」をクリック

- ⑤ ダウンロードしたCSVに、事前に整理した「Salesforce商談フェーズの内部ID」と「ZACの決定確率コード」を入力して保存

参考) stage.csvの作成例

	A	B
1	stage	zac_project_infos_dealstage
2	appointmentscheduled	4
3	qualifiedtobuy	3
4	presentationscheduled	2
5	decisionmakerboughtin	1
6	contractsent	1

CSV



- ⑦ 作成した「stage.csv」をアップロードし、「アップロード」をクリック

8-3. イベント連携の準備

指定ログイン情報の設定

Salesforceでイベント連携のためのワークフローの設定を行います。

- ① 設定から「指定ログイン情報」画面を開き、「ZacAppflow[環境名]NamedCredential」をクリックします。
- ② ページ下部の「カスタムヘッダー」の「x-api-key」について、アクションのアイコンをクリックし、「編集」をクリックします。
- ③ 別ウィンドウでAWSコンソールのCloudFormationの出力タブを選択します。

[Salesforce商談フェーズZAC決定確率の変換設定](#)の①~②と同じ手順で行ってください。

- ④ WebhookFunctionApiKeyLinkのリンクをクリックします。
- ⑤ APIキーのアイコンをクリックしてコピーします。
- ⑥ Salesforceの画面に戻り、値にコピーした値を入力して、「保存」をクリックします。

③AWSのCloudFormationの画面を開く

AWS

出力 (3)

キー	値	説明	エクスポート名
GlueConfigPathConsoleLink	https://go-northeast-1.console.aws.amazon.com/s3/buckets/zac-appflow-s3-glue-config-387420415383/config/	GlueConfigPathConsoleLink	
WebhookFunctionApiKeyLink	https://go-northeast-1.console.aws.amazon.com/apigateway/main/api-keys/elesk36kmf	WebhookFunctionApiKeyLink	

④「WebhookFunctionApiKeyLink」のリンクをクリック

server-Webho-9qMgaNXbGHft

最終更新日
June 18, 2025, 12:34 (UTC+09:00)

API キーの詳細

ID
elesk36kmf

説明
-

作成日
June 05, 2025, 13:30 (UTC+09:00)

ステータス
アクティブ

API キー
[アイコン] Show

⑤APIキーのアイコンをクリックしてコピー

指定ログイン情報

表示ラベル	種別	URL	外部ログイン情報	アクション
ZacAppflowS3NamedCr...	保護されたエンドポイ...	https://rwnwncwmw3.e...	ZacAppflowS3ExternalC...	

①「ZacAppflow[環境名]NamedCredential」をクリック

カスタムヘッダー

連番	名前	値
1	x-api-key	fbkmg3AcKb35AHEoBdMu65YaiDAm6Cn4poJKVom

②「x-api-key」の「編集」をクリック

カスタムヘッダーを編集

*名前
x-api-key

*値
fbkmg3AcKb35AHEoBdMu65YaiDAm6Cn4poJKVom

*連番
1

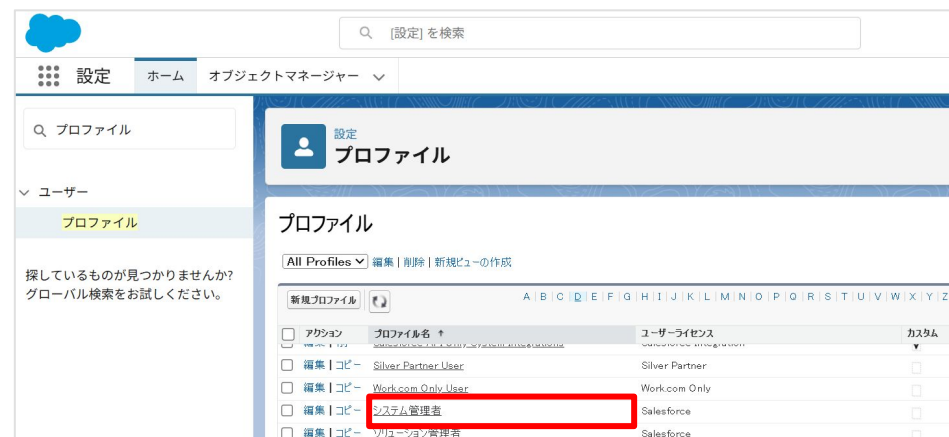
キャンセル 保存

⑥コピーした値を入力して、「保存」をクリック

プロフィールの設定

イベント連携を利用するユーザーに外部接続の権限を付与します。

- ① 設定から「プロフィール」画面を開きます。
- ② イベント連携を利用するユーザーをクリックします。
- ③ 「有効な外部ログイン情報プリンシパルアクセス」の「編集」をクリックします。
- ④ 「追加」をクリックして有効化し、「保存」をクリックします。

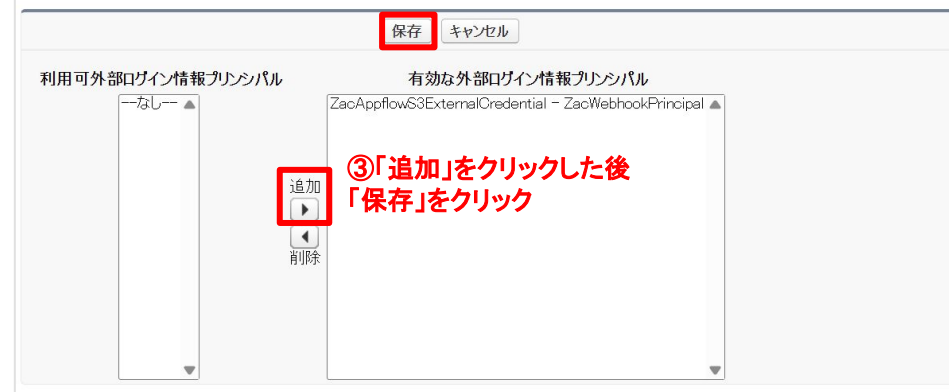


① イベント連携を利用するユーザーをクリック

② 「有効な外部ログイン情報プリンシパルアクセス」の「編集」をクリック



外部ログイン情報プリンシパルアクセスの有効化



③ 「追加」をクリックした後
「保存」をクリック

フローの有効化

イベント連携を実行するフローを有効化します。

- ① 設定から「フロー」画面を開きます。
- ② フロー「ZacAppflow[環境名] Webhook」をクリックします。
- ③ 「有効化」をクリックします。



フロー定義
すべてのフロー

50+ 個の項目 • 並び替え基準: フローの表示ラベル • 検索条件: すべてのフロー定義 • 4分前 に更新されました

フローの表示ラベル	プロセス種別	有効	テ...	パッケージの状態	バ...	最終更新者	最終更新日
ZacAppflowS3 Webhook	画面フロー	☒	☐	未管理		Kawakubo Takumi	2025/06/03 14:47
ケースを作成	画面フロー	☒	☒	管理-インストール済み			
ケース所有者を障害所...	画面フロー	☐	☒	管理-インストール済み			

①「ZacAppflow[環境名] Webhook」をクリック

②「有効化」をクリック



商談画面への連携ボタンの追加

商談画面で連携ボタンを表示させるための設定を行います。

- ① 設定>オブジェクトマネージャー>商談の画面を開き、「ボタン、リンク、およびアクション」をクリックします。
- ② 「新規アクション」をクリックします。
- ③ フローに「ZacAppflow[環境名] Webhook」を選択し、表示ラベルに「ZAC連携」、名前に「ZAC」と入力し、「保存」をクリックします。



アクション情報を入力

保存 キャンセル

オブジェクト名 商談 ⓘ

アクション種別 フロー

フロー ZacAppflowS3 Webhook ⓘ

標準の表示ラベル種別 ーなしー ⓘ

表示ラベル ZAC連携 ⓘ

名前 ZAC ⓘ

説明 ⓘ

アイコン ⚡ アイコン変更

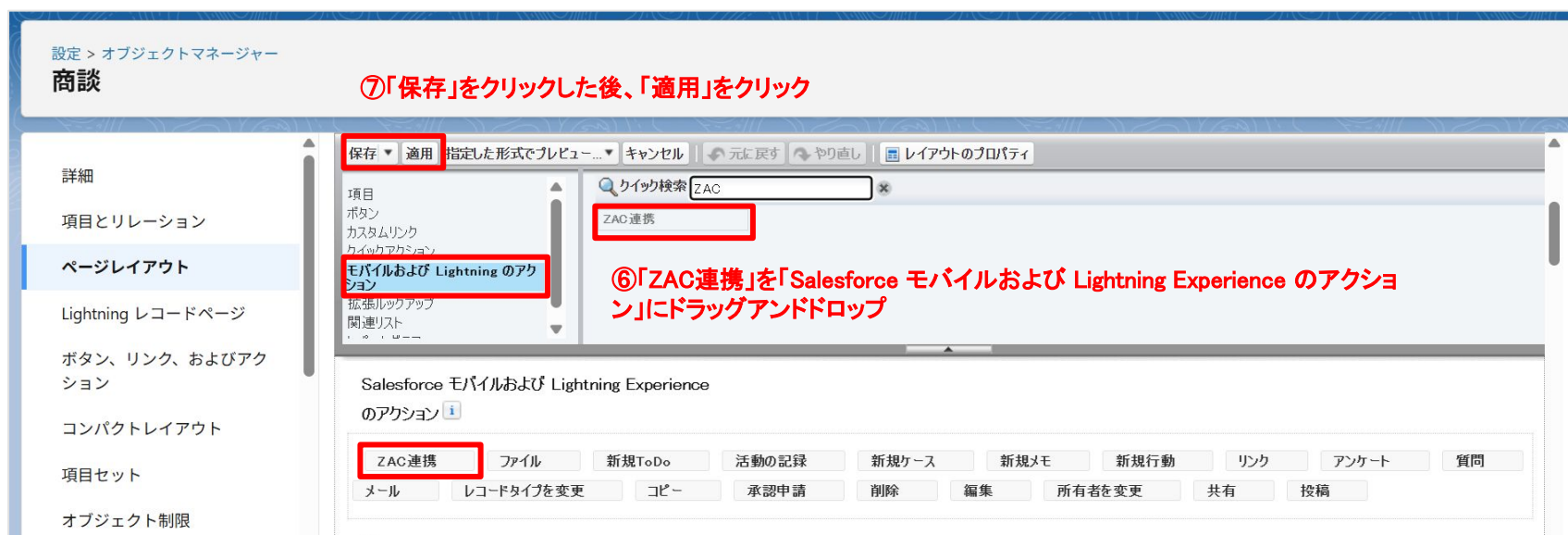
- ② フローに「ZacAppflow[環境名] Webhook」を選択し、表示ラベルに「ZAC連携」、名前に「ZAC」と入力し、「保存」をクリック

商談画面への連携ボタンの追加

- ④ 再び、設定＞オブジェクトマネージャー＞商談の画面を開き、「ページレイアウト」をクリックします。
- ⑤ 連携ボタンを追加するページレイアウトをクリックします。
- ⑥ 「モバイル及びLightningのアクション」をクリックして、「ZAC連携」を「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション」にドラッグアンドドロップで登録します。
- ⑦ 最後に「保存」をクリックした後、「適用」をクリックします。



⑤連携ボタンを追加するページレイアウトをクリック

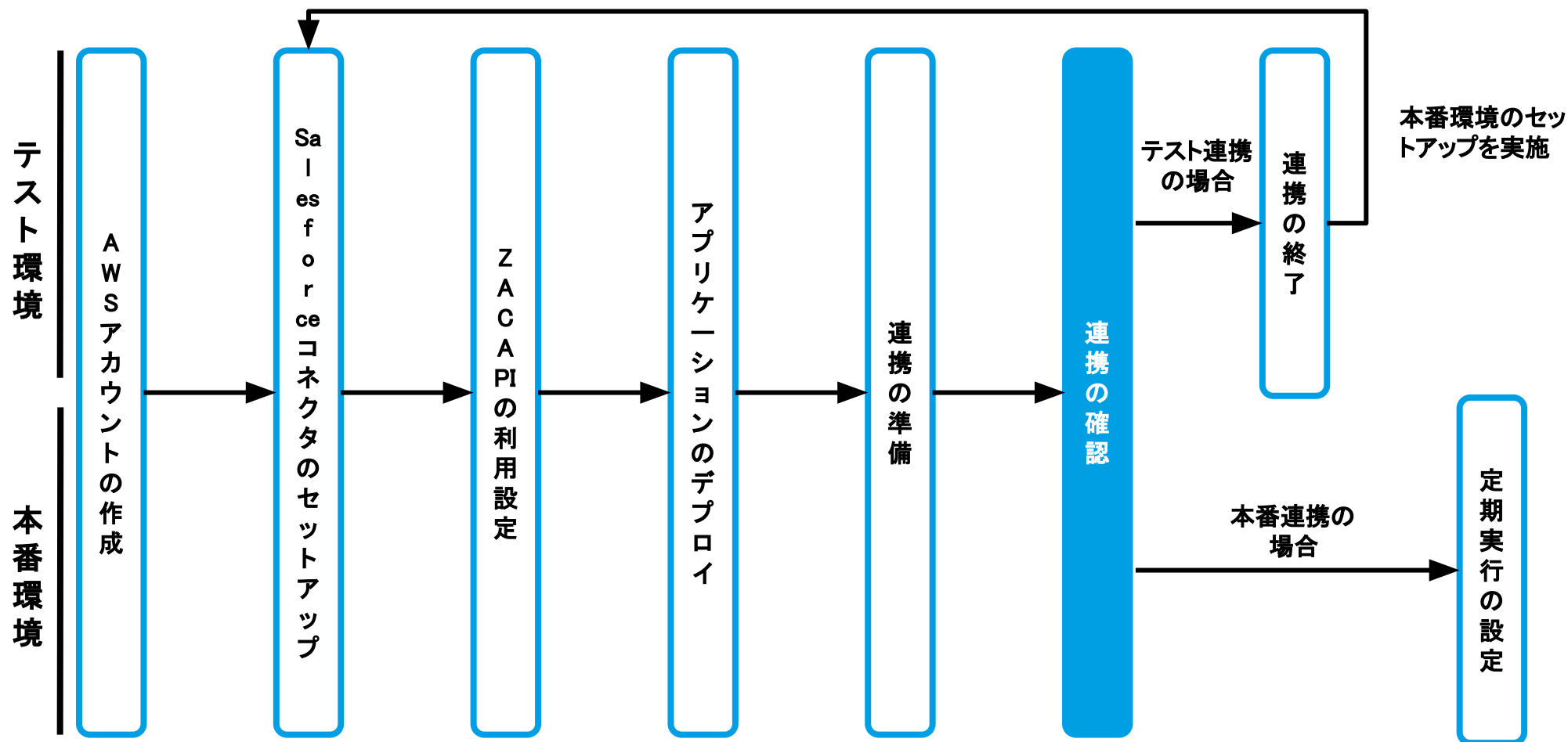


9. 連携の確認

本章の目的

本章では、ZACとSalesforceの連携の確認を行います。「Salesforceで商談の作成」⇒「ZACで案件作成の確認」⇒「商談・案件更新の確認」⇒「連携終了の確認」⇒「商談ビューの作成」⇒「既存商談の更新」の流れでセットアップを行います。

※テスト連携では、手動でStep Functionsで連携を実行します。本番連携では、定期実行できるようにスケジュールの設定を行います。



確認を行う連携の種類

本章で確認を行う連携は下記の6種類です。

12-4～12-6は、Bパターンのみで利用可能な機能のため、Aパターンの場合は確認不要です。

A/Bパターン対象

- 12-1 案件新規連携(スケジュール連携)
- 12-2 案件更新連携(スケジュール連携)
- 12-3 クライアント連携(スケジュール連携)

Bパターンのみ対象

- 12-4 受注後連携(スケジュール連携)
- 12-5 案件新規連携(イベント連携)
- 12-6 案件更新連携(イベント連携)

9-1. 案件新規連携 (スケジュール連携)

確認用商談の作成

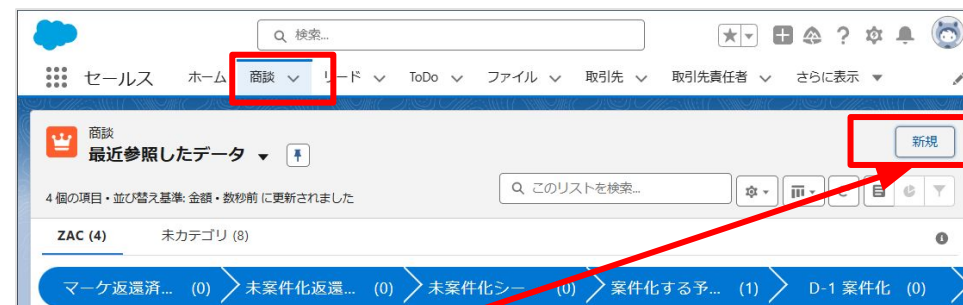
Salesforceで商談を作成し、
その情報がZACに連携されることを確認します。

新規登録確認用の商談作成

- ① 「セールス」タブから「商談」を選択します。
- ② 商談画面で「商談を作成」をクリックします。
- ③ 「商談を作成」画面でZAC連携時に必要な項目を入力し、「作成」ボタンをクリックします。

※ZACへの連携対象となる「商談フェーズ」を選択した場合、
または連携対象フェーズに移動した際に、ZACで案件が作成されます。

① 「セールス」タブで「商談」を選択



② 「新規」をクリック

③ 必要項目を入力し、「保存」をクリック

チェック実行

案件新規登録の連携を実行します。

ここではZACのテーブルデータ取込のチェック実行までの連携を行うため、実際にZACに案件が登録されることはございません。

【Step Functionsサービスの選択】

① ページ上部検索欄に「Step」と入力します。

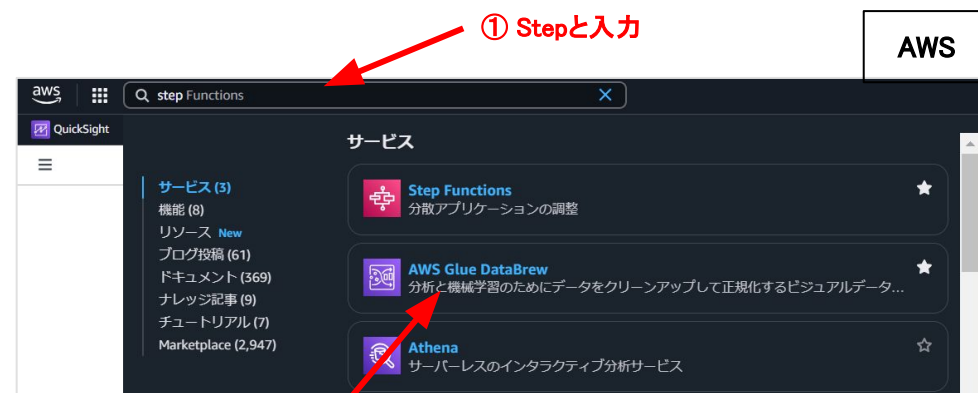
② 検索一覧から「Step Functions」をクリックします。

③ 「ステートマシン」画面で名前:

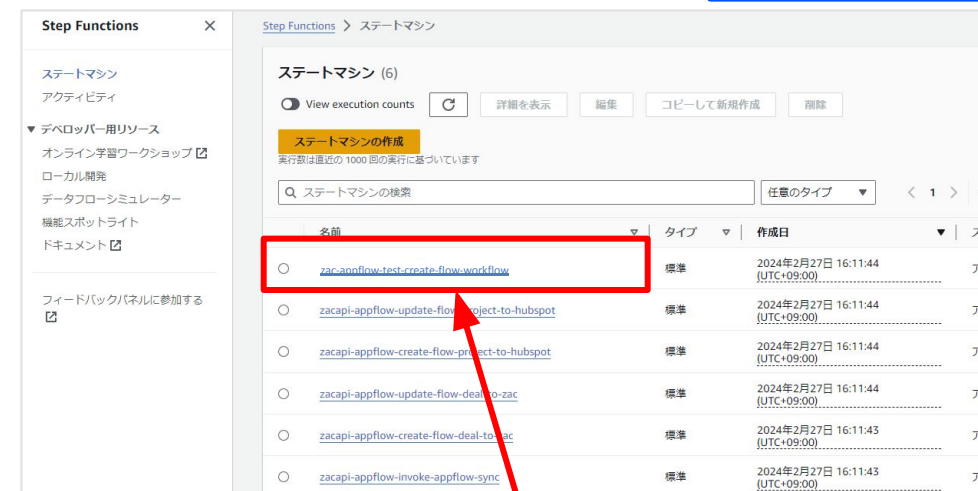
テスト環境用の場合「zac-appflow-test-create-flow-workflow」

本番環境用の場合「zac-appflow-prod-create-flow-workflow」

をクリックします。



② Step Functionsをクリック

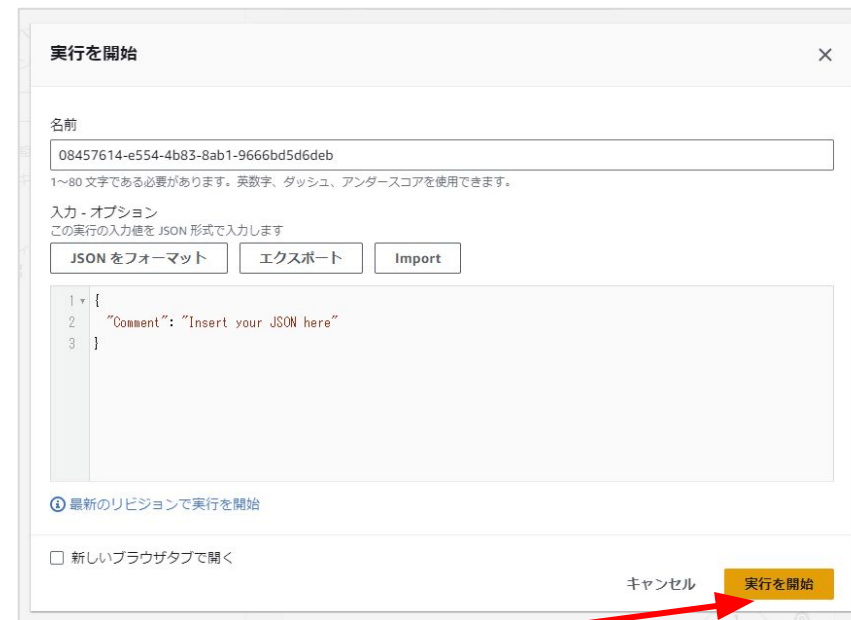
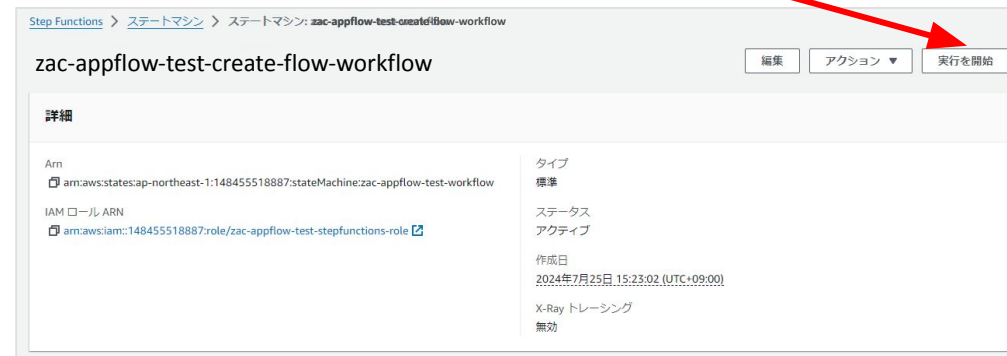


チェック実行

【連携の実行】

- ① 選択したステートマシンの画面から、「実行を開始」をクリックします。
- ② 実行を開始ダイアログで「実行を開始」をクリックします。

①「実行を開始」をクリック



②「実行を開始」をクリック

連携の実行

- ③ 連携フローの実行画面が表示されます。
- ④ 実行状況にしたがって実行ステータスが表示されます。
- ⑤ 実行ステータスが「成功」になると、1回の連携が完了となります。

④ 実行ステータスが表示されます

実行が正常に開始されました

実行: 54595d36-9c46-4f34-a4e9-808b82fc7b4e

詳細 | 実行の入力と出力 | 定義

実行ステータス
進行中

実行タイプ
Standard

実行 ARN
[arn:aws:states:ap-northeast-1:387420415383:execution:zac-appflow-s3-create-flow-workflow:54595d36-9c46-4f34-a4e9-808b82fc7b4e](#)

IAM ロール ARN
[arn:aws:iam::387420415383:role/zac-appflow-s3-stepfunctions-role](#)

状態遷移 [詳細はこちら](#)
5

グラフビュー | テーブルビュー

グラフビュー

```
graph TD
    Start([Start]) --> S1[AWS Step Functions: Start  
同時実行数を取得]
    S1 --> ChooseState[Choose state  
他のフローが実行中であれば終了]
    ChooseState -- Default --> S2[AWS Step Functions: Start  
前回の出力を削除]
    S2 --> S3[AWS Step Functions: Start/Execution  
salesforceから案件を取得]
    S3 --> S4[新機登録フロー: salesforce 登録]
    S4 --> S5[AWS Lambda: Invoke  
ZACから案件を取得 (1)]
    S5 --> S6[AWS Step Functions: Start/Execution  
新機登録フロー: ZAC案件 -> sales]
    S6 --> PassFail[Pass or Fail]
    PassFail -- Pass --> End([End])
```

チェック実行の確認

「チェック実行」の連携結果を確認します。

確認用商談作成後、ZACの「経理・管理＞その他＞テーブルデータ取込＞検索」より、チェック実行が成功しており、かつ意図した内容で実行結果が表示されることを確認します。また、確認用商談以外の商談はチェック実行が失敗しており、エラー内容がSalesforceに表示されることを確認します。

【Salesforce→ZAC連携のチェック実行】

- ① ZACのテーブルデータ取込画面で取込日等を指定後、「検索」ボタンを押下します。
- ② チェック実行結果が表示されます。
取込状態が「チェック済」のデータが、「チェック実行」で連携を実行した商談です。

※チェック実行が成功している場合は「エラー行数:0」です。

- ③ チェック実行が失敗しているデータの処理コードを押下します。

■テーブルデータ取込

テーブルデータ取込

取込種別 指定しない

取込日 最終更新日 2024年 4月 1日 ~ 年 月 日

キーワード !

取込状態 ☐ 処理済を含む

新規登録 クリア 検索

取込種別	処理コード: 処理名	最終更新者	取込状態	
最終更新日時	処理予約日時	処理終了日時	エラー行数	行数
案件基本+利益計画	0000367: API	API ユーザー	チェック済	
2024/04/15 14:19			2	4

③ 「処理コード」を押下

①② 「検索」ボタン押下後、
取込状態「チェック済」のデータを確認

チェック実行の確認

- ④ 「チェック結果画面」ボタンを押下し、
チェック結果(エラー内容)を確認します。
- ⑤ チェック結果確認後、Salesforce商談の情報を修正します。

登録				
処理コード	0000367		取込状態	チェック済
取込種別	案件基本+ 利益計画			
処理名	API			
	ファイルを指定	アップロード済ファイル名	行数	
案件基本	ファイルを選択 選択されていません	api_file_1.txt	2	削除
売上項目	ファイルを選択 選択されていません	api_file_2.txt	2	削除
予定原価	ファイルを選択 選択されていません		0	削除
合計(ヘッダ行含む)			4	
削除 保存				
チェック				
チェック済行数	4行		チェック実行	
エラー行数	2行		チェック結果画面	



■チェック結果 0000367: API		
ファイル名	エラー行数	
api_file_1.txt	ダウンロード	
api_file_2.txt	ダウンロード	
No.	ファイル名	行番号
1	api_file_1.txt	2
2	api_file_2.txt	2
		エラー内容
1		事業セグメントコードを入力してください。営業担当者コードを入力してください。集計区分コードを入力してください。引合日を入力してください。受注予定日を入力してください。売上予定日を入力してください。
2		売上(税込)を入力してください。売上額を入力してください。指定された旧JOBNoが存在しません。売上予定日を入力してください。売上区分コードを入力してください。単価を入力してください。

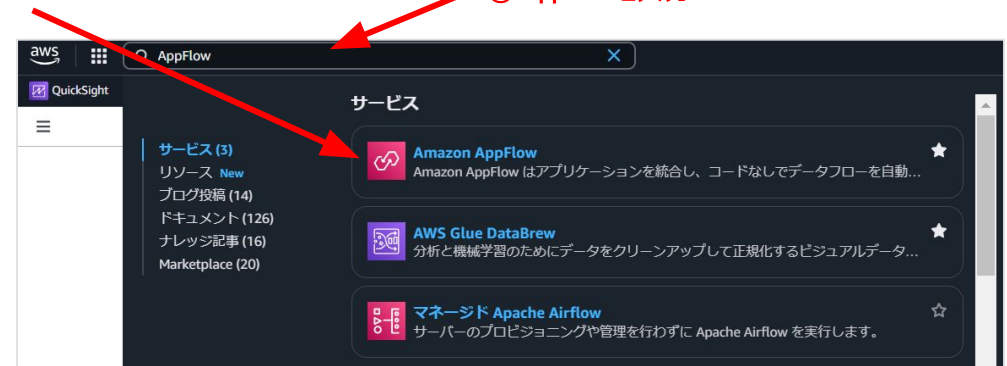
取込実行への変更

チェック実行で「Salesforce→ZAC, ZAC→Salesforce」それぞれの連携が成功していることを確認したら、「チェック実行」の選択肢を「False」に変更します。

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ ページ左側の「接続」を選択します。
- ④ 「コネクタ」のプルダウンから、テスト環境の場合は「zac-appflow-connector-test」、本番環境の場合は「zac-appflow-connector-prod」を選択します。
- ⑥ 作成されている接続をクリックします。

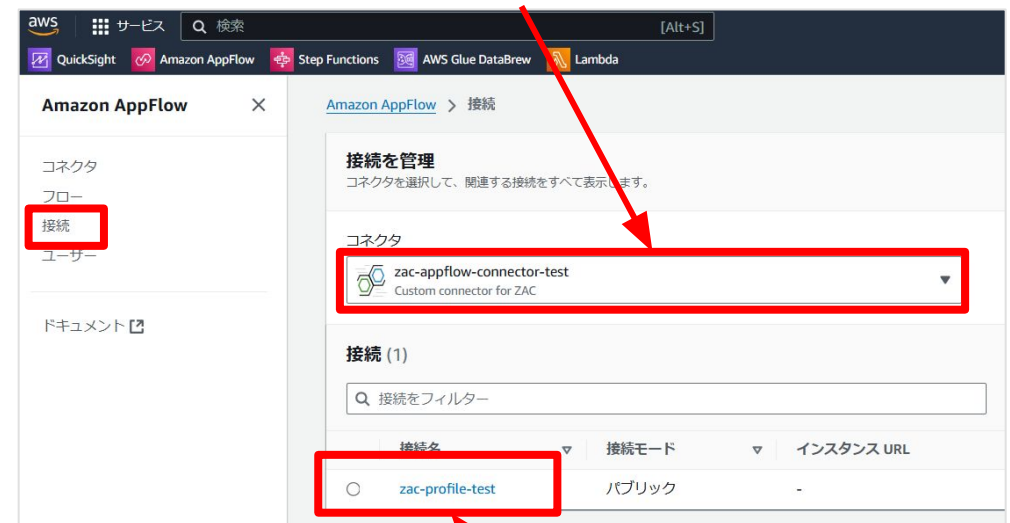
② Amazon AppFlowをクリック

① AppFlowと入力



⑤ コネクタからテスト環境の場合は「zac-appflow-connector-test」、本番環境の場合は「zac-appflow-connector-prod」を選択

③ 「接続」をクリック



⑥ 作成されている接続をクリック

案件取込実行への変更

- ⑥ 「編集」をクリックします。
- ⑦ username、password、client_id、client_secretを
P.44 [AWS環境へのアプリケーションの配置](#) に入力し、
「チェック実行のみ」を「False」に変更し、
「変更の保存」を押下します。

※ Secrets Managerに保管されている情報については、「Secrets Managerでシークレット値を表示する」ボタンで確認することもできます

Amazon AppFlow > 接続 > zac-profile-Prod

zac-profile-Prod 削除

一般的な設定

接続名 zac-profile-Prod	接続 ARN arn:aws:appflow:ap-northeast-1:387420415383:connectorprofile/zac-profile-b2	作成日 2024年9月20日, 15:28
接続モード パブリック	接続認証情報の ARN arn:aws:secretsmanager:ap-northeast-1:387420415383:secret:appflow1387420415383-zac-appflow-connector-b2-zac-profile-b2-1726813712777-rjvwHF	最終更新日 2024年9月20日, 17:32
コネクタタイプ カスタムコネクタ		

接続プロパティ (4) 編集 Secrets Manager でシークレット値を表示する

接続の編集

接続設定

Secrets Manager でシークレット値を表示する

接続名
zac-profile-b2

username
ZAC ユーザーID

password
ZAC パスワード

client_id
ZAC アプリケーションID

client_secret
ZAC アプリケーションのパスワード

ZAC ホスト名
secure.zac.ai

ZAC アプリケーション名
True
False ☒
False

キャンセル 変更の保存

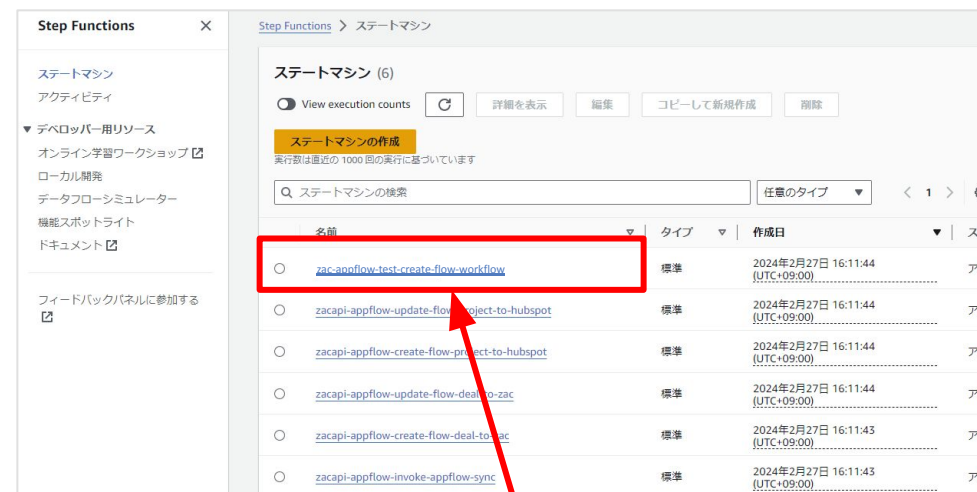
「False」選択後、
「変更の保存」をクリック

取込実行

ZACへの案件新規登録連携の確認のため、再度連携を実行します。

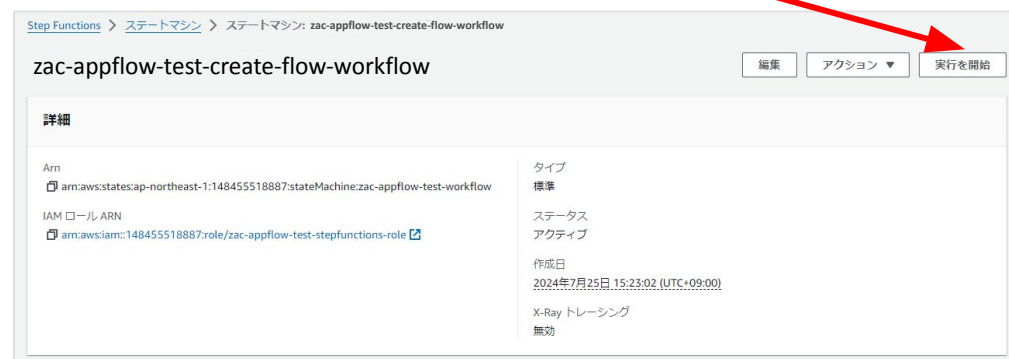
【Step Functionsから連携を実行する】

- ① AWSコンソール上部検索欄に「Step」と入力し、「Step Functions」画面を開きます。
- ② Step Functions「ステートマシン」画面で名前：テスト環境用の場合「zac-appflow-test-create-flow-workflow」本番環境用の場合「zac-appflow-prod-create-flow-workflow」をクリックします。
- ③「実行を開始」をクリックし、実行ステータスが「成功」になることを確認します。



② ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-create-flow-workflow」もしくは「zac-appflow-prod-create-flow-workflow」を選択

③「実行を開始」をクリック



取込実行の確認

前ページで実行ステータスが「成功」になることを確認した後、SalesforceとZACそれぞれにおいて、連携結果を確認します。

① Salesforce側で、連携確認用の商談の項目「JOBNo.(案件基本)」に、ZACで登録された案件のJOBNo.が連携されていることを確認します。

② ZAC側で、進捗が「引未」で案件が作成されており、案件基本が登録されていることを確認してください。

① Salesforce商談で、JOBNo.が連携されていることを確認

Salesforce

活動		詳細	Chatter
商談 所有者		ZAC連携実行結果	
 Kawakubo Takumi		成功	
非公開		ZAC連携実行日時	
☐		2025-06-19 21:01:34	
商談名		ZAC連携エラーメッセージ	
連携テスト		-	
取引先名		JOBNo. (案件基本)	
会社A		2200020	
フェーズ		ZAC案件進捗	
D1		引未	
確度 (%)		金額	
10%			

② ZACで案件が作成されていることを確認

ZAC

引未	2200024 連携テスト
営業担当者 0001 小田 太郎 売上予定日 2025/07/31	
案件基本	利益計画 見積 受注・失注 請求 売上
案件情報	担当者情報 取引先情報 スケジュール 付帯情報 カスタムフィールド情報
案件情報	編集
連絡請求書	適格
JOBNo.	2200024
旧JOBNo.	101524810475
案件名	連携テスト

9-2. 案件更新連携 (スケジュール連携)

確認用商談の更新

案件新規登録連携が成功した商談を更新し、
案件更新登録連携の確認を行います。

① 既に案件新規登録連携が成功した商談について、
連携項目を更新します。
(右のキャプチャでは商談フェーズの更新をしています)

② 案件新規登録連携により作成されたZAC案件において、
利益計画の登録を行います。

Salesforce

商談 所有者

C2
C3
B1
B2
B3
A
Closed Won
Closed Lost
D1

ZAC連携実行結果
成功

ZAC連携実行日時
2025-06-19 21:01:34

ZAC連携エラーメッセージ
-

JOBNo. (案件基本)
2200020

ZAC案件進捗
引未

確度 (%)
10%

金額

キャンセル

保存

①任意の連携項目を変更

②利益計画を登録

ZAC

一時保存中

新規申請

集計表	売上	原価 1	粗利	粗利率	原価 2	売上総利益	売総率	原価 3	営業利益	営利率
見込	1,000,000	200,000	800,000	80%	0	800,000	80%	0	800,000	80%
予定	1,000,000	200,000	800,000	80%	0	800,000	80%	0	800,000	80%
予定+実績	1,000,000	200,000	800,000	80%	0	800,000	80%	0	800,000	80%
実績	0	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%

JOBNo. / 案件名を入力 引用 EQ

売上・原価

一括編集

一括発注登録

売上項目フィルター

原価フィルター

売上項目追加

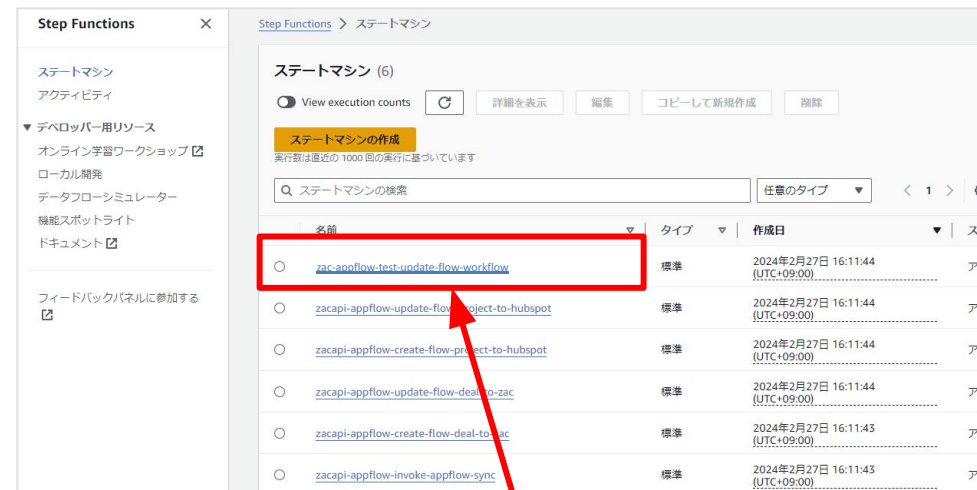
売上項目	売上進捗	売上予定日	売上区分	数量	単価	金額	売上額	課税
001 連携テスト	未計上	2025/07/31	999 その他	1	1,000,000	1,000,000	1,000,000	外税
原価	進捗	発注先	仕入予定日	費目	数量	単価	予	
001 外注	発注・仕入	発注未登録	00001 支払先	2025/06/18	0001 材料費	1	200,000	2

取込実行

案件更新登録連携を実行します。

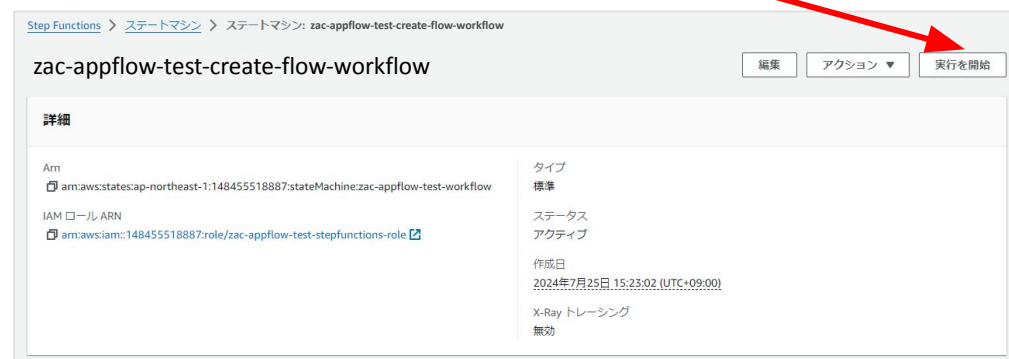
【Step Functionsから連携を実行する】

- ① AWSコンソール上部検索欄に「Step」と入力し、「Step Functions」画面を開きます。
- ② Step Functions「ステートマシン」画面で名前:
テスト環境用の場合「zac-appflow-test-update-flow-workflow」
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-update-flow-workflow」
をクリックします。
- ③「実行を開始」をクリックし、
実行ステータスが「成功」になることを確認します。



- ② ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-update-flow-workflow」もしくは「zac-appflow-prod-update-flow-workflow」を選択

- ③「実行を開始」をクリック



取込実行の確認

前ページで実行ステータスが「成功」になることを確認した後、SalesforceとZACそれぞれにおいて、連携結果を確認します。

① Salesforce側で、連携確認用の商談の項目「ZAC連携実行日時」や、ZACで登録した売上/利益等のデータが連携されていることを確認します。

② ZAC側で案件が更新されていることを確認します。
右のキャプチャでは、Salesforceの商談フェーズの更新に伴い、ZACの決定確率が更新されていることを確認しています。

Salesforce

商談 所有者 Kawakubo Takumi	ZAC連携実行結果 成功
非公開	ZAC連携実行日時 2025-06-19 21:15:18
商談名 連携テスト	ZAC連携エラーメッセージ -
取引先名 会社A	JOBNo. (案件基本) 2200020
フェーズ A	ZAC案件進捗 引承
確度 (%) 90%	金額 \$1,000,000.00
完了予定日 2025/08/31	粗利(予定実績)額 800,000
事業セグメントコード (案件基本) その他	売上総利益(予定実績)額 800,000
営業担当者コード (案件基本) 0011 - テスト社員 11	営業利益(予定実績)額 800,000

①「ZAC連携実行日時」が更新され、売上/利益等のデータが連携されていることを確認

ZAC

引承	2200020 連携テスト
営業担当者 0011 テスト社員 11 売上予定日 2025/08/30 売上金額 1,000,000	
案件基本	利益計画 見積 受注・失注 請求 売上
案件情報	担当者情報 取引先情報 スケジュール 付帯情報 カスタムフィールド情報
案件情報	編集
選抜請求書	適格
JOBNo.	2200020
旧JOBNo.	006gL0000081n3hQAA
案件名	連携テスト
決定確率	A (80 ~ 100%)

② ZACで案件基本が更新されていることを確認

9-3. クライアント連携

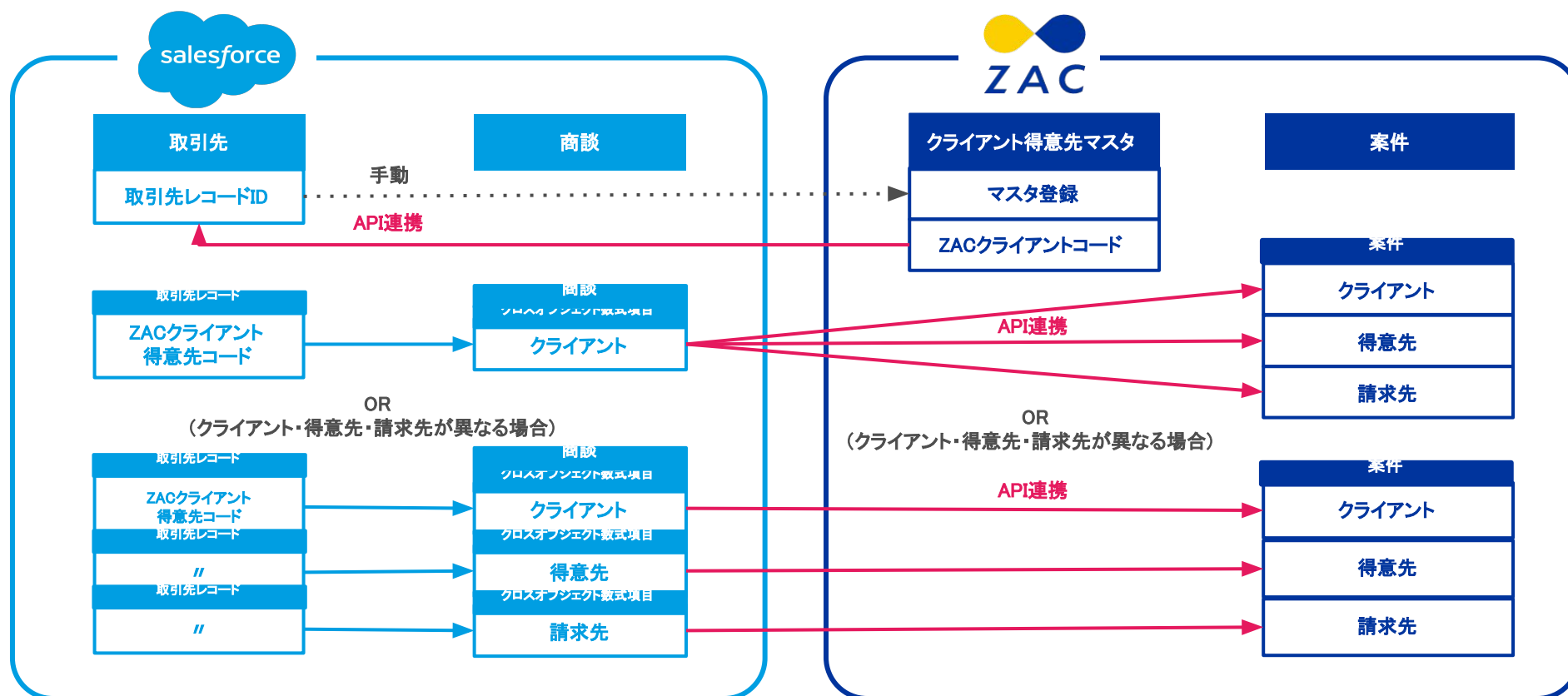
取引先-クライアント連携 概要

取引先-クライアント連携機能は、Salesforceの取引先オブジェクトに「ZACクライアント得意先マスタコード」を連携し、商談に紐付けられた取引先レコードから、Salesforceのクロスオブジェクト数式項目を活用しZACクライアント得意先コードを引用する機能です。

商談に紐ついている該当の取引先レコードに「ZACクライアント得意先コード」が登録されていない、もしくは商談に取引先が紐付けられていない場合、ZACに登録される案件の「得意先」「請求先」「クライアント」は仮登録で登録がされます。

商談に紐付けられた取引先レコードが「クライアント」のみである場合、ZAC連携時は、すべて「クライアント」で紐つけられた取引先レコードのZACクライアント得意先コードが連携されます。

商談に対して複数の取引先レコードを紐付けた場合、登録した内容に応じてそれぞれのZACクライアント得意先コードが優先され、連携がされます



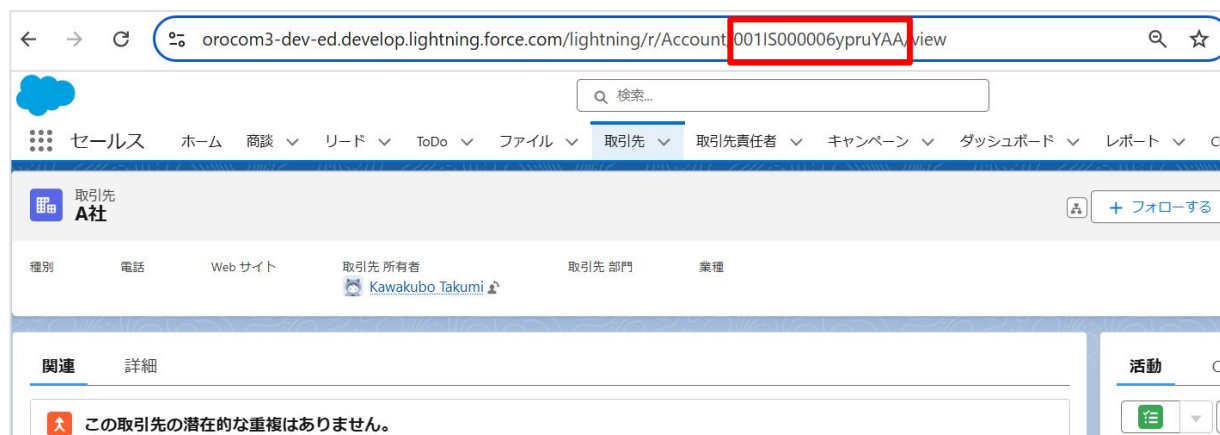
クライアント得意先マスタの登録

取引先オブジェクトからZACに登録をする該当のレコードの詳細に入り、レコードIDを取得します。

- ①取引先オブジェクトの中に入り、
該当の取引先レコードの画面を開き、
URLからレコードIDを取得します。



①「レコードID」の値をコピー



クライアント得意先マスタの登録

ZACのクライアント・得意先マスタの登録を行います。

- ①クライアント得意先マスタを開き、該当のクライアント内の「Salesforce取引先レコードID」にコードを登録します。

クライアント・得意先登録	
登録内容	☐ 仮登録 ☒ 本登録
クライアント・得意先	☒ クライアントとして使用 ☒ 得意先として使用 ☒ 請求先として使用
クライアントコード	00003
(旧)クライアントコード	
クライアント正式名	株式会社A
クライアント略称	株式会社A
クライアントカナ	カブシキガイシャエー
住所	〒 123-7654 東京都港区青山3-3-3 青山タワー33階
電話番号	03-2222-2222
FAX番号	
URL	
クライアント事業内容	宿泊業, 飲食サービス業
資本金	
ファイルグループ	添付ファイル (0件)
※クライアントのみ選択した場合、バックカラーが灰色の上記項目のみ入力して下さい。	
Salesforce取引先レコードID	001IS000006ypnuYAA
書類送付方法	☒ PDF出力 ☐ メール送信

- ①「Salesforce取引先レコードID」に「レコードID」の値をコピー

クライアント連携の実行

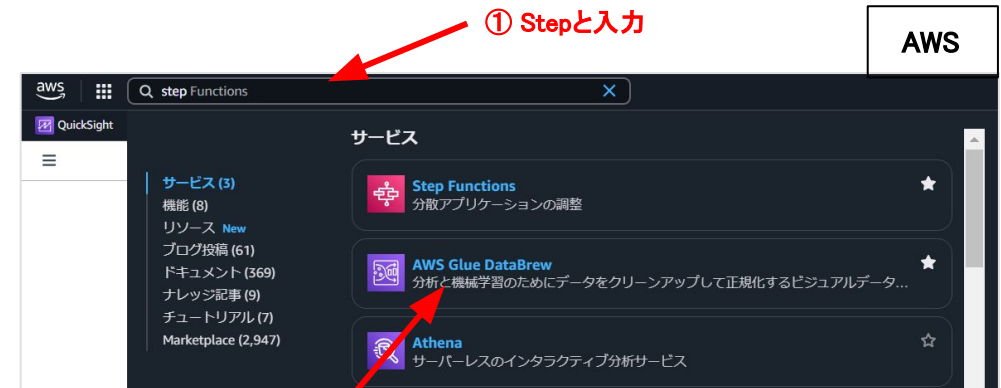
ZACへの案件新規登録連携の確認のため、再度連携を実行します。

【Step Functionsから連携を実行する】

- ① ページ上部検索欄に「Step」と入力します。
- ② 検索一覧から「Step Functions」をクリックします。
- ③ 「ステートマシン」画面で名前:

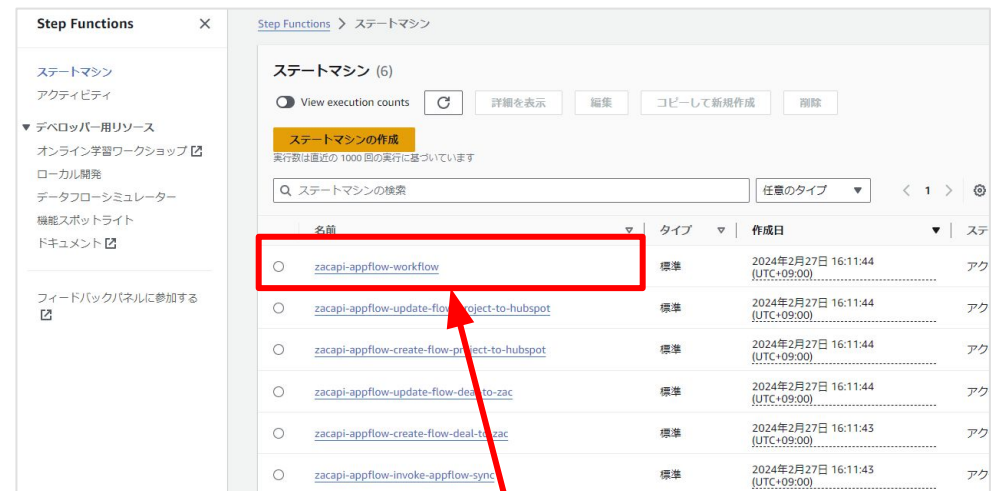
テスト環境用の場合「zac-appflow-test-client-workflow」
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-client-workflow」
を選択して、「実行を開始」をクリックします。

実行完了後、該当の取引先コードに
ZACクライアント得意先コードが登録されていれば連携は成功です。



② Step Functionsをクリック

Step Functions



- ③ ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-client-workflow」
もしくは「zac-appflow-prod-client-workflow」を選択

取引先が紐づいた商談の連携確認

ZAC案件に取引先情報を連携するために、商談に対して取引先の紐づけを行います。

商談に取引先の紐づきがない、もしくは紐づいた取引先に「ZACクライアント得意先マスタコード」の値が登録されていない場合は、ZACには仮登録で連携がされています。

【商談と取引先の紐づけ】

- ① 商談画面に遷移し、連携確認用の商談の詳細画面に入り、「ZACクライアント参照」、「ZAC得意先参照」、「ZAC請求先参照」について、取引先から参照して選択します。（クライアント、得意先、請求先に同一の取引先を選択することも、別々の取引先を選択することも可能です）
- ② 「保存」をクリックします。

①「ZACクライアント参照」、「ZAC得意先参照」、「ZAC請求先参照」について該当の企業を選択

取引先が紐づいた商談の連携確認

取引先が紐づいた商談の連携を実行します。

商談の「ZACクライアント参照」、「ZAC得意先参照」、「ZAC請求先参照」に対して取引先を紐づけることで、取引先レコードの「ZACクライアント得意先コード」が、商談レコードの「クライアント」、「得意先」、「請求先」の項目に連動します。

(クロスオブジェクト数式項目機能)

こちらの状態で、連携を実行することで、該当のZAC案件に「クライアント」「得意先」「請求先」を連携させることができます。

【連携の実行】

① 該当の取引の「クライアント(案件基本)」に値が入っていることを確認して、連携を実行します。

連携の実行方法については、

新規登録の場合、P.87 [取込実行](#) のページを

更新登録の場合、P.91 [取込実行](#) のページをご参照ください。

② ZACの案件基本を開き、「得意先」「請求先」「クライアント」が更新されていることを確認します。

②「クライアント」「得意先」「請求先」に値が入っていることを確認

②取引先情報が更新されていることを確認

9-4. 受注後連携 (スケジュール連携)

確認用商談の更新

既に連携が成功している商談を更新し、
受注後連携の確認を行います。

<Salesforce>

- ① 既に連携が成功している商談について、
連携対象外のフェーズに変更します。
 - ② Salesforce→ZACの連携の更新がされないことを確認するため、
連携項目となっている項目を変更します。
- 例) 集計区分コード

<ZAC>

- ③ ①の取引と対応するZAC案件について、受注登録を行います。
- ④ 受注後もZACの利益計画の変化に伴い、Salesforceの金額が更新される
ことを確認するために、利益計画を修正します。

※受注後連携で連携されるZAC案件の条件は下記になります。
条件外のZAC案件の情報は連携されないためご注意ください。

進捗: 失完/受承/請済/売確/売完
最終更新日: 7日前まで
売上予定日: 11か月前～

Salesforce

ZAC

2200020 連携テスト

営業担当者 0011 テスト社員 11 売上予定日 2025/06/30 売上金額 800,000

案件基本 利益計画 見積 受注・失注 請求 売上

2025/06/19 売上予定金額 800,000円 9999-7777 1-9777 更新

承認済 変更申請

集計表

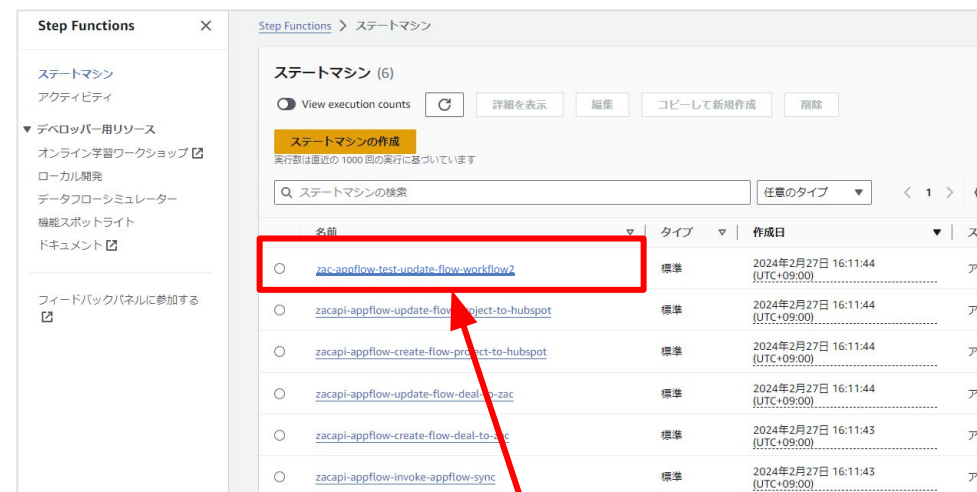
	売上	原価1	粗利	粗利率	原価2	売上総利益	粗利率	原価3	営業利益	粗利率
見込	1,000,000	200,000	800,000	80%	0	800,000	80%	0	800,000	80%
予定	800,000	300,000	500,000	63%	0	500,000	63%	0	500,000	63%
実績	0	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%

取込実行

受注後連携を実行します。

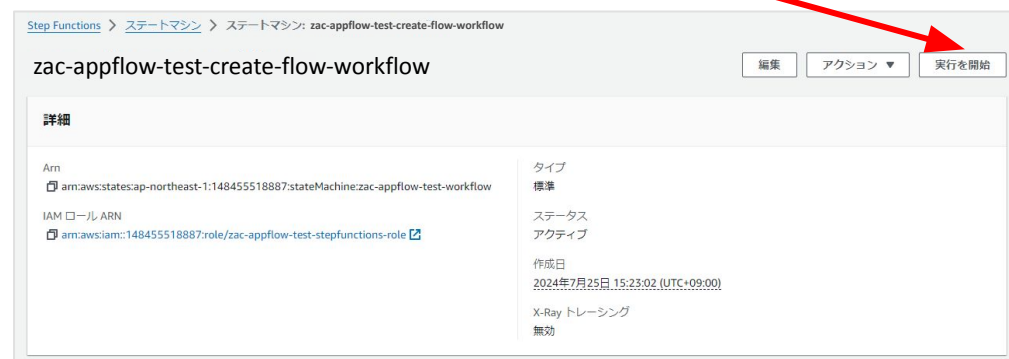
【Step Functionsから連携を実行する】

- ① AWSコンソール上部検索欄に「Step」と入力し、「Step Functions」画面を開きます。
- ② Step Functions「ステートマシン」画面で名前:
テスト環境用の場合「zac-appflow-test-update-flow-workflow2」
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-update-flow-workflow2」
をクリックします。
- ③「実行を開始」をクリックし、
実行ステータスが「成功」になることを確認します。



- ② ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-update-flow-workflow2」もしくは「zac-appflow-prod-update-flow-workflow2」を選択

- ③「実行を開始」をクリック



取込実行の確認

前ページで実行ステータスが「成功」になることを確認した後、SalesforceとZACそれぞれにおいて、連携結果を確認します。

① Salesforce側で、連携確認用の取引の項目「ZAC連携実行日時」が更新されていることを確認します。
また、受注後にZACで更新された売上/利益等のデータが連携されていることも確認します。

② ZAC側で案件基本情報が更新されていないことを確認します。

Salesforce

商談 所有者	ZAC連携実行結果
Kawakubo Takumi	成功
非公開	ZAC連携実行日時
	2025-06-19 21:15:18
商談名	ZAC連携エラーメッセージ
連携テスト	-
取引先名	JOBNo. (案件基本)
会社A	2200020
フェーズ	ZAC案件進捗
Closed Won	受承
確度 (%)	金額
100%	\$800,000.00
完了予定日	粗利(予定実績)額
2025/06/19	500,000
事業セグメントコード (案件基本)	売上総利益(予定実績)額
その他	500,000
営業担当者コード (案件基本)	営業利益(予定実績)額
0011 - テスト社員 11	500,000

① Salesforce商談で、ZAC連携実行日時および進捗/金額/利益が更新されていることを確認

ZAC

② ZACで案件基本が更新されていないことを確認

受承	2200020 連携テスト
営業担当者 0011 テスト社員 11 売上予定日 2025/06/30 売上金額 800,000	
案件基本	利益計画 見積 受注・失注 請求 売上 ⋮
案件情報	担当者情報 取引先情報 スケジュール 付帯情報 カスタムフィールド情報
案件情報	編集
連携請求書	適格
JOBNo.	2200020
旧JOBNo.	006gL0000081n3hQAA

9-5. 案件新規連携 (イベント連携)

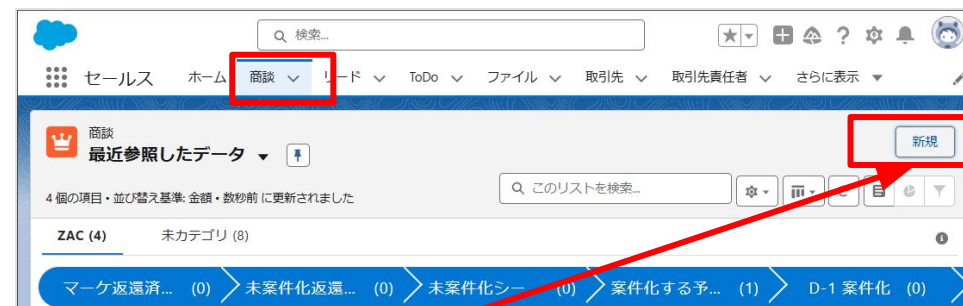
確認用商談の作成

案件新規登録のイベント連携を確認します。

確認用商談の作成

- ① 「セールス」タブから「商談」を選択します。
- ② 商談画面で「商談を作成」をクリックします。
- ③ 「商談を作成」画面でZAC連携時に必要な項目を入力し、「作成」ボタンをクリックします。

① 「セールス」タブで「商談」を選択



② 「新規」をクリック

新規商談: ZAC

* = 必須情報

商談情報

商談所有者
野田 大夢

金額
¥ 1,500,000

非公開
☐

* 完了予定日

* 商談名
案件_連携用

次のステップ

取引先名
取引先を検索...

* フェーズ
D-1 案件化

* 種別
--なし--

精度 (%)
20%

リードソース
--なし--

主キャンペーンソース
キャンペーンを検索...

* 事業セグメント
事業セグメント①

クライアント
取引先を検索...

請求先
取引先を検索...

得意先
取引先を検索...

キャンセル 保存 & 新規 保存

③ 必要項目を入力し、「保存」をクリック

取込実行

イベント連携を実行します。

- ① 確認用の商談画面の「ZAC連携」ボタンをクリックします。
- ② 連携が完了されるまで、1~2分待機します。

The screenshot shows the Salesforce Sales Console interface. At the top, there's a search bar and navigation tabs for 'セールスコンソール' and '商談'. The main content area displays a record for 'イベント連携テスト'. Below the record title, there are two buttons: '+ フォローする' and 'ZAC連携'. The 'ZAC連携' button is highlighted with a red rectangle. A red annotation '①「ZAC連携」ボタンをクリック' points to this button. To the right of the main record, there's a sidebar with details for the '商談' (Opportunity), including the owner 'Kawakubo Takumi', status '非公開', name 'イベント連携テスト', and other fields like '取引先名', 'フェーズ', '確度 (%)', and '完了予定日'.

The screenshot shows a confirmation message box titled 'ZAC連携'. The message states 'フローが終了しました' (Flow has ended). Below the message, there are two fields: '非公開' (Private) and 'ZAC連携実行日時' (ZAC連携実行日時). The background shows the 'フェーズ: Closed Won' status and a button to 'クローズしたフェーズを変更' (Change closed phase).

取込実行の確認

SalesforceとZACそれぞれにおいて、連携結果を確認します。

- ① Salesforce側で、連携確認用の取引の項目「JOBNo.(案件基本)」に、ZACで登録された案件のJOBNo.が連携されていることを確認します。
- ② ZAC側で案件が作成されていることを確認します。

Salesforce

活動	詳細	Chatter
商談 所有者	Kawakubo Takumi	ZAC連携実行結果
非公開	☐	成功
商談名	イベント連携テスト	ZAC連携実行日時
取引先名		2025-06-19 21:55:09
フェーズ	D1	ZAC連携エラーメッセージ
		-
		JOBNo. (案件基本)
		2200021
		ZAC案件進捗
		引未

① Salesforce商談で、
JOBNo.が連携されていることを確認

② ZACで案件が作成されていることを確認

ZAC

引未	2200021 イベント連携テスト
営業担当者	0011 テスト社員
売上予定日	2025/06/30
案件基本	利益計画 見積 受注・失注 請求 売上 ⋮
案件情報	担当者情報 取引先情報 スケジュール 付帯情報 カスタムフィールド情報
案件情報	編集
連絡請求書	適格
JOBNo.	2200021
旧JOBNo.	006gL0000081swEQAQ
案件名	イベント連携テスト
決定確率	D (0 ~ 30%未満)

9-6. 案件更新連携 (イベント連携)

確認用取引の更新

既に連携が成功した商談を更新し、
案件更新登録のイベント連携の確認を行います。

- ① 既に連携が成功した商談について、
連携項目を更新します。
(右のキャプチャでは商談フェーズの更新をしています)



* 商談名
イベント連携テスト

取引先名
取引先を検索...

C2
C3
B1
B2
B3
A

ZAC連携エラーメッセージ
-

JOBNo. (案件基本)
2200021

ZAC案件進捗
引未

金額

粗利(予定実績)額

保存 予定実績)額

①フェーズを変更

取込実行

イベント連携を実行します。

- ① 確認用の商談画面の「ZAC連携」ボタンをクリックします。
- ② 連携が完了されるまで、1~2分待機します。

The screenshot shows the Salesforce Sales Console interface. At the top, there's a search bar and navigation tabs for 'セールスコンソール' and '商談'. The main content area displays a 'イベント連携テスト' (Event Linkage Test) card. This card has two buttons: '+ フォローする' and 'ZAC連携'. The 'ZAC連携' button is highlighted with a red rectangle, and a red annotation '①「ZAC連携」ボタンをクリック' points to it. Below the buttons, the card shows details for a lead: '取引先名' (Lead Name), '完了予定日' (Completion Date) as 2025/06/19, '金額' (Amount), and '商談所有者' (Lead Owner) as Kawakubo Takumi. To the right of the card, there's a sidebar with fields for '商談所有者' (Lead Owner), '非公開' (Private), '商談名' (Lead Name) as 'イベント連携テスト', '取引先名' (Lead Name), 'フェーズ' (Phase) as 'D1', '確度 (%)' (Probability) as '10%', and '完了予定日' (Completion Date).

The screenshot shows a confirmation message box in the Salesforce interface. The message box has a title 'ZAC連携' and a body that says 'フローが終了しました' (Flow has ended). At the bottom of the message box, there are two fields: '非公開' (Private) and 'ZAC連携実行日時' (ZAC Linkage Execution Date/Time). The background shows the 'フェーズ: Closed Won' (Phase: Closed Won) status and a button 'クローズしたフェーズを変更' (Change Closed Phase).

取込実行の確認

SalesforceとZACそれぞれにおいて、連携結果を確認します。

- ① Salesforce側で、連携確認用の商談の項目「ZAC連携実行日時」が更新されていることを確認します。
- ② ZAC側で案件基本が更新されていることを確認します。

Salesforce

活動	詳細	Chatter
商談 所有者	Kawakubo Takumi	ZAC連携実行結果
非公開	☐	成功
商談名	イベント連携テスト	ZAC連携実行日時
取引先名		2025-06-19 21:55:09
		ZAC連携エラーメッセージ
		-
		JOBNo. (案件基本)
		2200021

①「ZAC連携実行日時」が更新されていることを確認

② ZACで案件が作成されていることを確認

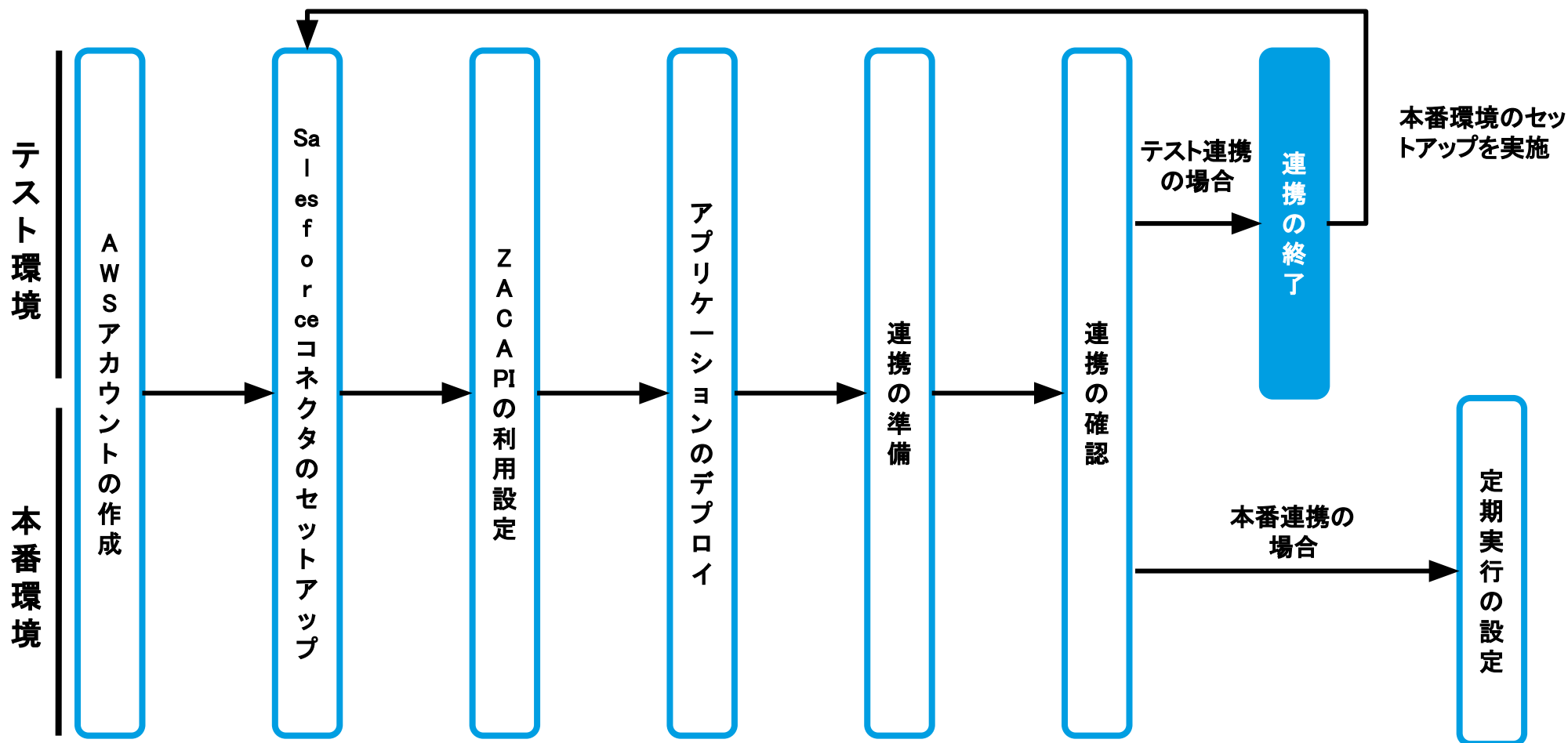
ZAC

案件基本	利益計画	見積	受注・失注	請求	売上	⋮
案件情報	担当者情報	取引先情報	スケジュール	付帯情報	カスタムフィールド情報	
案件情報						編集
適格請求書	適格					
JOBNo.	2200025					
旧JOBNo.	102166304492					
案件名	イベント連携テスト					
決定確率	A (80 ~ 100%)					
事業セグメント	その他					

10. 連携の終了

本章の目的

本章では、ZACとSalesforceのテスト連携終了を行います。「連携情報の削除」後、「[7. ZAC APIの利用設定](#)」に戻り、本番環境のセットアップを行います。
※テスト連携を実施しない場合は、「[13. 定期実行の設定](#)」へお進みください。

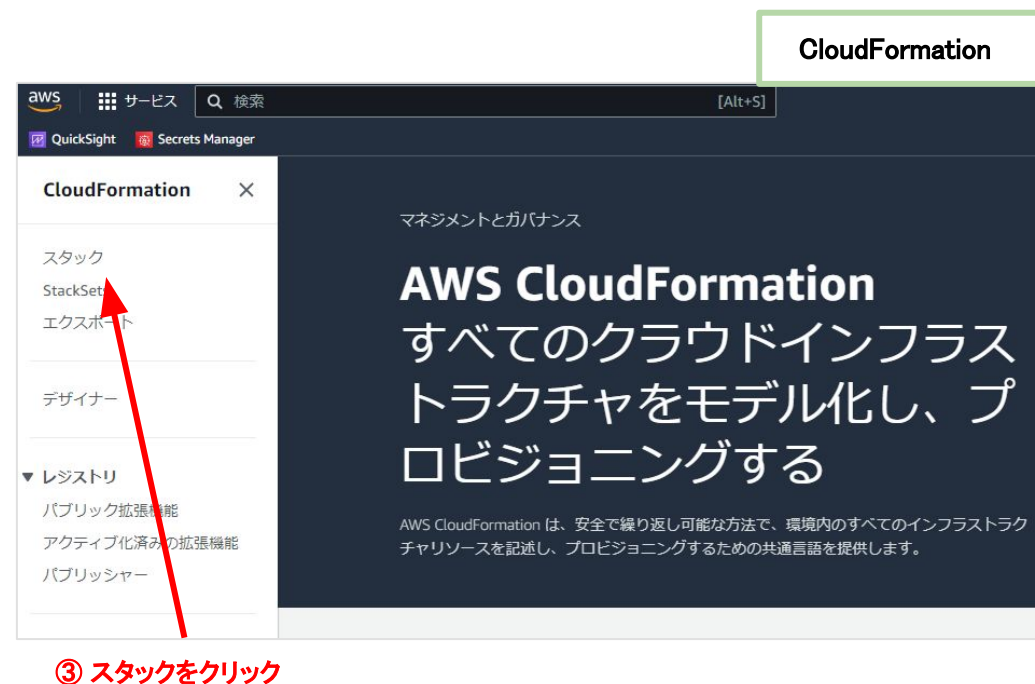


連携の終了

※テスト環境で連携テストを行わない場合は、本作業は不要です。

テスト環境で連携テストが完了し、ZACとSalesforceの連携を終了させたい場合は、以下の手順を実施します。

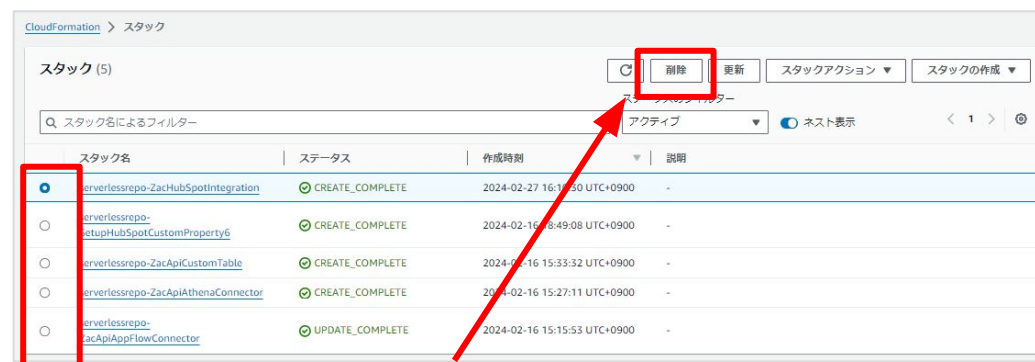
- ① ページ上部検索欄に「CloudFormation」と入力します。
- ② 検索一覧から「CloudFormation」をクリックします。
- ③ CloudFormationの画面が表示されましたら、「スタック」をクリックします。



連携の終了

- ④ スタック画面でスタック名 左側にチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。

※Salesforce本番環境とZAC本番環境の連携は、
「[セットアップの流れ](#)」の流れに沿って実行してください。

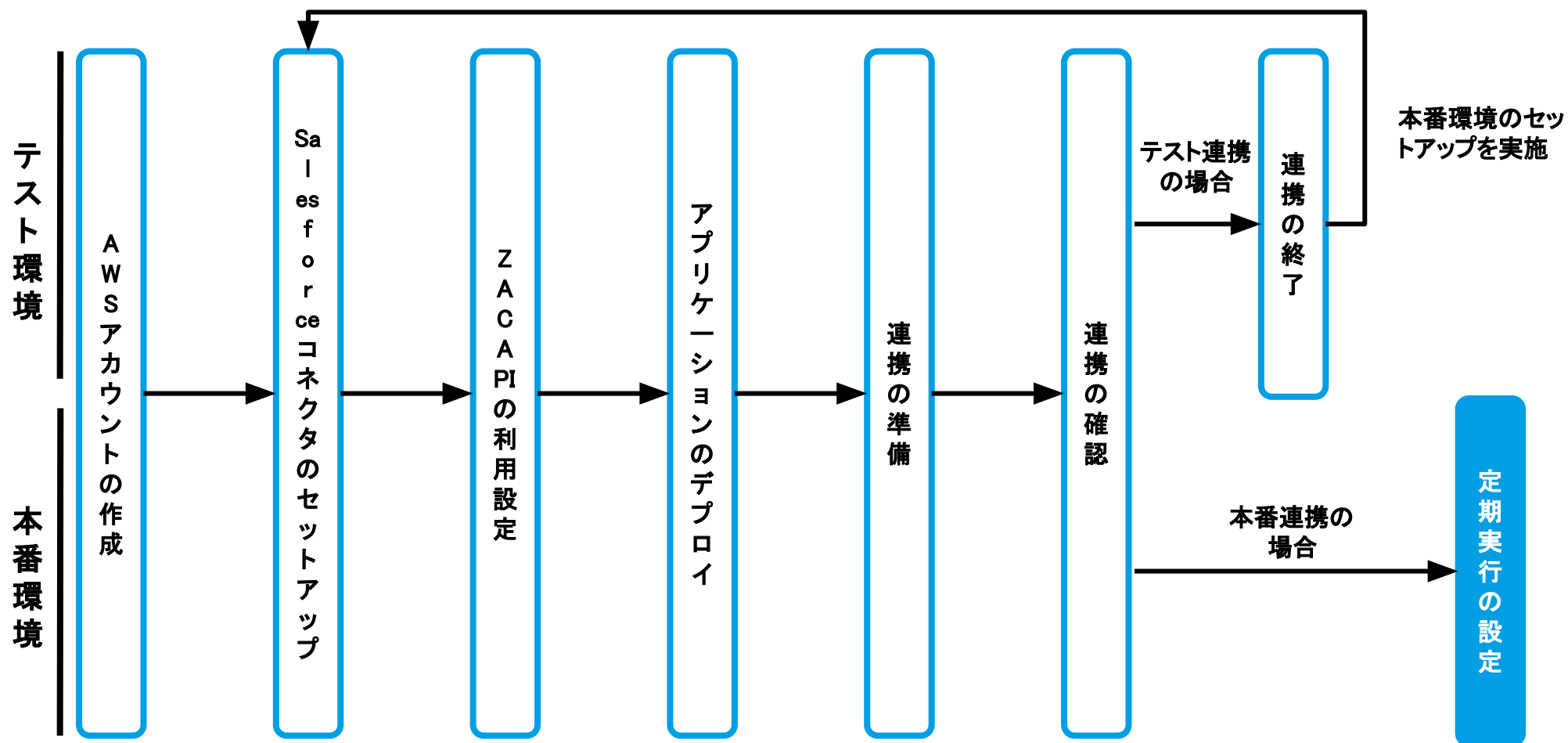


- ④ スタックを選択し、「削除」をクリック

11. スケジュール実行の設定

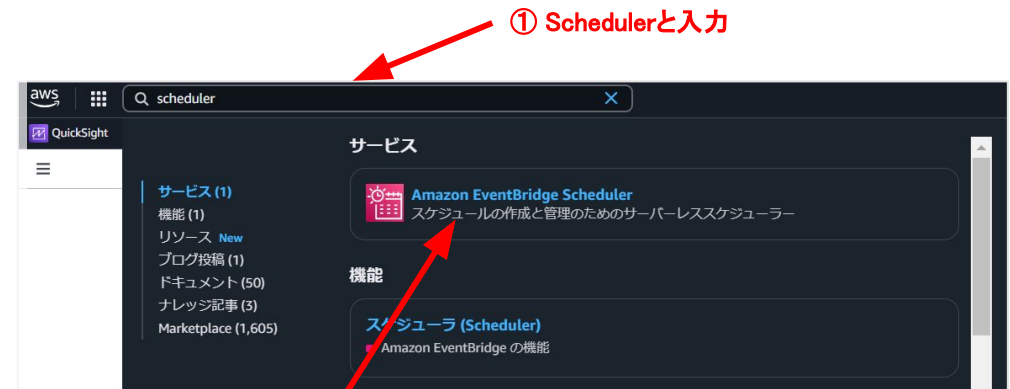
本章の目的

本章では、ZACとSalesforceの連携の定期実行できるようスケジュールの設定を行います。



定期実行の設定

- ① ページ上部検索欄に「Scheduler」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon EventBridge Scheduler」をクリックします。



- ② Amazon EventBridge Schedulerをクリック

定期実行の設定

③ スケジュールの一覧から、実行スケジュールを変更したいスケジュールを選びます。

イベント連携との併用についてはP.18 [スケジュール連携-イベント連携の運用整理](#)をご参照ください。

○案件新規連携

テスト環境用の場合: `zac-appflow-test-Create-Schedule`

本番環境用の場合: `zac-appflow-prod-Create-Schedule`

初期設定: 無効、月曜日～金曜日の7:00～19:00(1時間に1回)

○案件更新連携

テスト環境用の場合: `zac-appflow-test-Update-Schedule`

本番環境用の場合: `zac-appflow-prod-Update-Schedule`

初期設定: 無効、月曜日～金曜日の7:00～19:00(1時間に1回)

○ZACクライアントの連携

テスト環境用の場合: `zac-appflow-test-Client-Schedule`

本番環境用の場合: `zac-appflow-prod-Client-Schedule`

初期設定: 有効、月曜日～金曜日の6:00(1日に1回)

○受注後の商談の連携(Bパターンのみ)

テスト環境用の場合: `zac-appflow-test-Update-Schedule2`

本番環境用の場合: `zac-appflow-prod-Update-Schedule2`

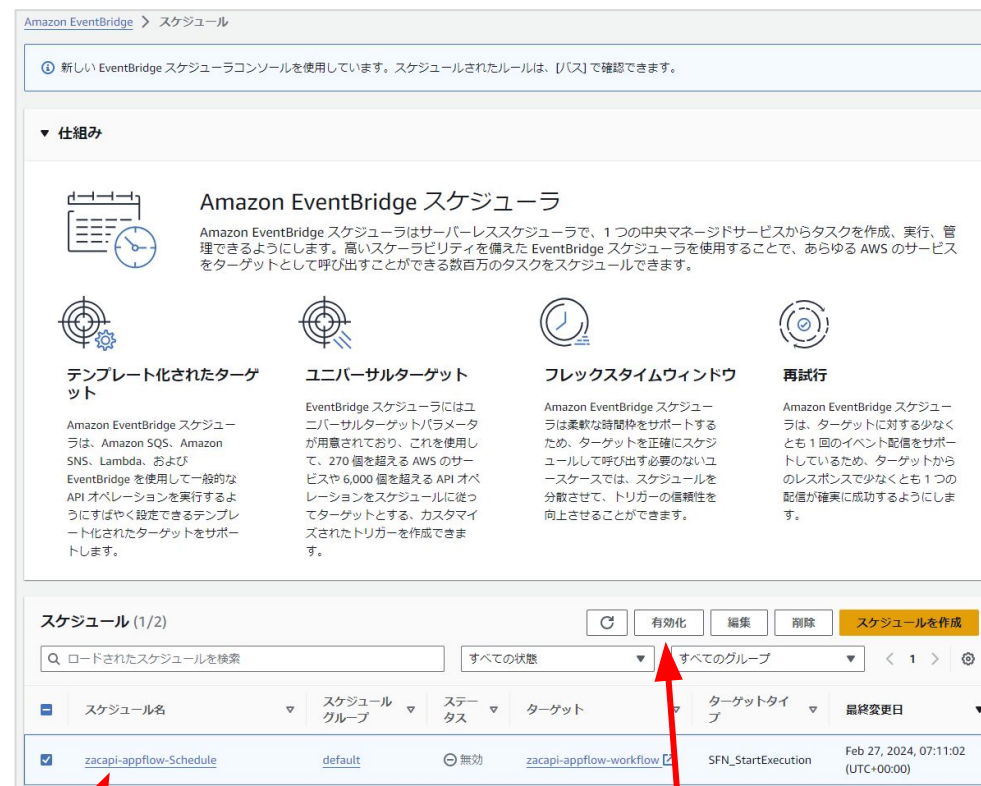
初期設定: 無効、月曜日～金曜日の6:00(1日に1回)

○カスタム項目の連携

テスト環境用の場合: `SetupSfaCustomProperty-test-Schedule`

本番環境用の場合: `SetupSfaCustomProperty-prod-Schedule`

初期設定: 有効、月曜日～金曜日の6:00(1日に1回)



③ `zacapi-appflow-Schedule`を選択します

④ 有効化をクリックします

※連携の実行頻度や時間帯を変更する場合、「編集」をクリックし変更することができます。

設定方法については公式ドキュメント

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/scheduler/latest/UserGuide/schedule-types.html

を参照ください。

④ 「有効化」をクリックします

補足)AWSアカウント作成の流れ

AWSアカウントの作成の流れ



① AWSにサインアップ

はじめにAWSアカウントのログイン情報を登録します。下記のURLよりサインアップ画面に移動します。

<https://portal.aws.amazon.com/billing/signup#/start>

※表示されたページが「日本語」でない場合、ページ右上より「日本語」を選択後、サインアップ画面へお進みください。

「ルートユーザーのEメールアドレス」にはAWSへのログイン時に使用するメールアドレスを設定します。

「AWSアカウント名」に、お客様のお名前を半角アルファベットで入力します。

入力が完了したら、「認証コードをEメールアドレスに送信」ボタンをクリックします。

※ご登録いただくメールアドレスは、AWS 側からの通知等にも利用されます。複数の方への通知が必要な場合は、メーリングリストのご利用をご検討ください。

日本語 ▼

aws

AWS にサインアップ

新しい AWS アカウントで無料利用
枠の製品をご覧ください。

詳細については、aws.amazon.com/free をご覧ください。

ルートユーザーの E メールアドレス
AWS コンソールへのログインおよびアカウント管理に
使用するメールアドレスです。

AWS アカウント名
アカウントの名前を選択します。この名前は、サイン
アップ後にアカウント設定で変更できます。

認証コードを E メールアドレスに送信

または

既存の AWS アカウントにサインインする

AWSアカウントの作成の流れ



① AWSにサインアップ

「ルートユーザーの E メールアドレス」で入力したメールアドレスに届いた確認コードを入力します。

入力が完了したら、「認証を完了して次へ」ボタンをクリックします。

日本語 ▼



新しい AWS アカウントで無料利用枠の製品をご覧ください。

詳細については、aws.amazon.com/free をご覧ください。



AWS にサインアップ

E メールアドレス認証による本人確認

安全性の確保 – 当社が対応します。

認証コードを記載した E メールを に送信しました。
(ご本人ではありませんか?)

認証コードを入力して、Eメールの本人確認を完了ください。

確認コード

認証を完了して次へ

コードを再送信

コードを受け取れませんでしたか?

- コードを受け取るまでに最大 5 分かかります。
- スパムフォルダを確認してください。

AWSアカウントの作成の流れ



① AWSにサインアップ

「root ユーザーパスワード」で AWS へのログイン時に使用するパスワードを設定し、確認用にもう一度同じパスワードを入力します。

※パスワードは8文字以上で次のうち3つ以上が含まれている必要があります。

- ・ 半角英字大文字
- ・ 半角英字小文字
- ・ 半角数字
- ・ 半角記号

入力が完了したら、「次へ」ボタンをクリックします。

新しい AWS アカウントで無料利用
枠の製品をご覧ください。

詳細については、aws.amazon.com/free をご覧ください。

AWS にサインアップ

パスワードの作成

✓ E メールアドレスが認証され、
本人確認が完了しました。

AWS へのログイン時に使用するパスワードを設定ください。パスワードを確認するために、もう一度同じパスワードを入力します。

ルートユーザーパスワード

ルートユーザーパスワードの確認

次へ (ステップ 1/5)

または

既存の AWS アカウントにサインインする

AWSアカウントの作成の流れ



② 連絡先情報の入力

法人でのご利用であれば、「ビジネス – 職場、学校、組織向け」、個人のご利用であれば「個人 – ご自身のプロジェクト向け」を選択します。

連絡先情報は、すべて「半角アルファベットおよび半角数字」で入力します。AWS カスタマーアグリーメント（利用規約）に同意の上、チェックボックスをクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

日本語 ▼

aws

AWS にサインアップ

無料利用枠の提供

すべての AWS アカウントでは、ご使用の製品に応じて 3 種類の無料提供を利用できます。

- 常に無料**
無期限
- 12 か月間無料**
最初のサインアップ日から開始
- トライアル**
サービスのアクティブ化の日付から開始

連絡先情報

AWS の利用用途を選択ください。

☐ ビジネス – 職場、学校、組織向け

☐ 個人 – ご自身のプロジェクト向け

本アカウントの連絡先情報を半角英数字で入力ください。

フルネーム

電話番号

国または地域

住所

アパート、棟、ビル、階など

市区町村

州/都道府県または地域

郵便番号

☐ AWS カスタマーアグリーメント [AWS の条項](#) を読み、同意します

次へ (ステップ 2/5)

AWSアカウントの作成の流れ



③ 請求情報の入力

お客様の有効なクレジットカードまたはデビットカード情報を入力します。AWS では、ほとんどの主要クレジットカードとデビットカードをご利用いただけます。カード番号、有効期限などの情報に間違いのないようお気を付けてください。

請求先住所を選択します。前のステップでご入力いただいたご住所と同様の場合は、「連絡先住所を使用する」を選択します。アカウント作成時にご入力いただいたご住所と異なる請求先となる場合は、「新しい住所を使用する」を選択して、請求先住所を入力します。

入力が完了したら、「確認して次へ」ボタンをクリックします。

日本語 ▼

AWS にサインアップ

請求情報

クレジットカードまたはデビットカード番号

AWS では、ほとんどの主要クレジットカードとデビットカードをご利用いただけます。支払いオプションの詳細については、よくある質問をご確認ください

有効期限日

月 ▼
年 ▼

カード所有者の氏名

請求先住所

☒ 連絡先住所を使用する

Meguro3-9-1
Meguro-ku Tokyo 136-0076
JP

☐ 新しい住所を使用する

確認して次へ - (ステップ 3/5)

確認のための請求を承認するために、銀行のウェブサイトからリダイレクトされる場合があります。

セキュアな検証

③ AWS 無料利用枠の制限を下回る使用に対しては課金いたしません。お客様の本人確認の為、一時的に最大1米ドル(または現地通貨で同等の金額)のお取引を3〜5日間保留させていただきます。

AWSアカウントの作成の流れ



④ SMSまたは音声電話による本人確認

作成していただいた AWS アカウントのご本人確認を行います。テキストメッセージ (SMS) または、電話 (自動音声) をお選びいただけます。

SMS または電話 (日本語自動音声) で4桁の検証コードが届きます。

検証コードが届いたら入力欄に検証コードを入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

AWSアカウントの作成の流れ



⑤ AWS サポートプランの選択

最後に AWS のサポートプランの選択を行います。

有償のサポートを現時点で必要としていない場合は、「ベーシックサポート」を選択します。

選択が完了したら、「サインアップを完了」ボタンをクリックします。

※開発者、デベロッパー、ビジネスいずれかの有償プランをご選択した場合、月額最低サポート料金が加入時に請求となります。有償プランは AWS アカウント作成後にお申込みいただくこともできます。

日本語 ▼

AWS にサインアップ

サポートプランを選択

ビジネスアカウントまたは個人アカウントのサポートプランを選択します。プランと料金の例を比較 [します](#)。プランは、AWS マネジメントコンソールでいつでも変更できます。

☒ ベーシックサポート - 無料 - AWS の使用を開始したばかりの新規ユーザーにお勧め - AWS リソースへの 24 時間 365 日対応のセルフサービスアクセス - アカウントと請求の問題のみ - Personal Health Dashboard と Trusted Advisor へのアクセス	☐ デベロッパーサポート - 29 USD/月から - AWS を試用するデベロッパーにお勧め - 営業時間中の AWS サポートへの E メールでのアクセス 12 (営業) 時間の応答時間	☐ ビジネスサポート - 100 USD/月から - AWS での実稼働のワークロードの実行にお勧め - E メール、電話、チャットによる 24 時間年中無休のテクニカルサポート 1 時間の応答時間 - Trusted Advisor のベストプラクティスに関するすべての推奨事項
---	---	---

エンタープライズレベルのサポートが必要ですか?

1 か月あたり 15,000 USD から、担当のテクニカルアカウントマネージャーが 15 分間応対し、コンシエルジュ形式のサービスをご利用いただけます。詳細は[こちら](#)

サインアップを完了

参考) Salesforce・AWS公式ドキュメント各種

Salesforceヘルプセンター

<https://help.salesforce.com/s>

Amazon AppFlow の開始方法 (動画とデモ)

<https://aws.amazon.com/jp/appflow/getting-started/?amazon-appflow-blogs.sort-by=item.additionalFields.createdDate&amazon-appflow-blogs.sort-order=desc&appflow-whats-new.sort-by=item.additionalFields.postDateTime&appflow-whats-new.sort-order=desc>

Amazon AppFlow User Guide

<https://docs.aws.amazon.com/appflow/latest/userguide/what-is-appflow.html>

AWS Glue Developer Guide

<https://docs.aws.amazon.com/glue/latest/dg/what-is-glue.html>

[AWS Black Belt Online Seminar] AWS Glue

https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20190806_AWS-BlackBelt_Glue.pdf

AWS Glue ハンズオン

<https://catalog.us-east-1.prod.workshops.aws/workshops/ee59d21b-4cb8-4b3d-a629-24537cf37bb5/ja-JP>

AWS Step Functions の開始方法

<https://aws.amazon.com/jp/step-functions/getting-started/>

Amazon EventBridge

<https://aws.amazon.com/jp/eventbridge/>

 **oRo co.,ltd.**